

0010735000

0010735-000

319.122-N715s

支那人の見た日本の満蒙政策

日華倶楽部・訳編

日華倶楽部

1930序

ABJ

の支
観邦
た人

日本
の
満蒙
政策

(以印刷代唐寫)



先般或る方面から偶然本冊子の如きものを入手しましたので一讀するに、今日滿蒙に於ける日支の關係が兎角面白く行かないのはこんな点にあるかと首肯せしむる筋が少くありません、因つて茲に平素滿蒙問題の研究に熱心なる各位に御願ひすることゝ、致しました、若し多少とも御参考となれば幸であります

昭和五年六月

日

日華俱樂部

昭和五年八月
日華俱樂部より
阪西氏へ文

319.122

N715a

~~334.71~~



支那人の親れた日本の満蒙政策 目次

一、序

言

一、支那人は日本の満蒙政策を如何に見て居るか……………一

二、「田中義一上日皇之奏章」……………三

三、支那人の對應策如何……………四

四、日本人は今後支那人に對し如何なる態度で接すべきか……………七

一、例

言

……………一

本文譯文

一、原序

四種

……………一

一、「田中義一上日皇之奏章」

……………一九

以上

序 言

一、支那人は日本の滿蒙政策を如何に見て居るか。

奉天の親友華君が此の同筆者に對し「日本の滿蒙政策を知つてゐるか」と問ふた。

筆者は即座に「それは滿蒙の天地をして日支共存共榮の聖地たらしむるにある」旨を答へた。

然るに華君は「そんな御座なり文句では今日の支那には通用しない」と冷かに笑殺し去つて次の如く語り續けた。

「日本の滿蒙政策は明治大帝の遺策に基いて定められて居る。それに依ると第一期は臺灣の占領、第二期は朝鮮の合邦、第三期は滿蒙の征服であつて今日は正に其の第三期に該當する。而して先年田中大將が内閣を組織するや所謂東方會議を召集して滿蒙積極政策なるものを議定した、其の要旨は大體次の三項に分けて説明することが出来る。

第一、政治的進出——一面滿鐵に外交警察及一般の政權を附與して帝國主義的機能を發揮せしめ又一面蒙古王公に聯絡し在郷軍人を密派して東蒙の政事を操縦する。

第二、經濟的侵略——大いに滿蒙の土地を購買し且牧畜、鑛山の權利を獲得する、それと同時に滿蒙に於ける鐵道網の完成を急ぎ東北の寶庫を開發し且滿蒙にて商業を營ひ日本人を保護し滿蒙特産物

の販賣權を掌握し進んでは金本位制度を施行し東北金融界を壟断せんことを期す。

第三、人口移植問題 日本人の滿蒙移植を奨励すると同時に支那人の移住を阻止する。

之が爲には朝鮮人の北徙を強要し且策を用ひて蒙古王公をして漢民族移入禁止の法律を發布せしむ而して拓務省は之が中樞機關であり、吉會線の急設は軍事上必要とせられて居る。

されば日本人が如何に巧言令色を以て日支共存共榮を高調しても吾々支那人としては耳を藉すことが出来ない云々」

筆者はこれに對し「それは疑心暗鬼と言ふものである」と軽く言ひ放ちたるが華君は却々聽かない「疑心暗鬼どころではない實際問題だ、之を見給へ」と言つてポケットより「驚心動魄之日本滿蒙積極政策」と題せる小冊子を取り出して筆者に示し

「滿鐵の人達は支那人は何も知らぬと見做つて居るけれども日本の對滿蒙政策に關しては今日では支那人の方が普通の日本人より餘程眞剣に研究して居る。それは單に自己の必要からと言ふ許りてなく英米始め外國人から教へられることもあり又調査を頼まれて研究することもあり種々の關係で日本の國策と言つた様な事柄に對する知識慾は近來非常に進んで來た、此の小冊子こそ支那人の見た日本の滿蒙政策だ。日本人も今日の支那人と時事を談ずるには之位のものを読んでおかぬと恥をかくよ」と注意して呉れた。

二、「田中義一上日皇之奏章」

右小冊子の内容は田中内閣時代昭和二年六月二十七日より同七月七日に至る十一日間滿蒙關係の文武百官を招集して東方會議を開き滿蒙積極政策を議定して得た所謂我が滿蒙政策に關する田中首相の上奏文を支那時文に譯出した體のものである、上奏文の日附は昭和二年七月二十五日とあり田中首相より一木宮内大臣に宛てた執奏文まで添記されて居る。固より眞偽は筆者の與り知らざる所であるが要するに然る内容の組立てである。

華君の談に依ると之は嘗て南京發行月刊雜誌時事月報（十八年十二月第一卷第二期）に其の全文の掲載を見たることあり又京津の日刊新聞にも時々掲載せられたることあり、英譯の單行本も出來て居るとのことである。

又日本の公使館では右記事の事實を否認し且南京政府に對し發行禁止方を抗議したとのことである筆者は一讀して「これは行文餘りに毒々しい處から見ても正物とは思はれない」と言ふや華君は「併しこれだけの文章の構成即ち數字や事實の配列を支那人の想像丈で出來ると思ふか」と不審そうに言つた。

更に「吾人は此の上奏文の眞偽を此處で詮議せんとするものではない。只君も僕も豫想だにせざる超尋級式の日本の滿蒙政策が此の小冊子によりて現はされ之が支那政府當局は勿論有識者間に廣く

讀され相當深い感動を興へて居る事態を考慮して見たいと言ふのである。

僕は田中内閣乃至山本總裁時代の滿鐵の經營方針は拓務省の設置にせよ、滿鐵傍系事業の分離にせよ、製鋼、製油、硫安曹達工業の企圖にせよ又吉會線交渉當時の威勢等を見ても此の小冊子の範圍を出てないものと見て居るが如何。

君も一つ此の小冊子を中心として、支那人が今日、日本の滿蒙政策に對し如何に應待して居るかを研究して見給へ」と言ふのであつた。

三、支那人の對應策如何。

華君の言ふことを聞いて見ると支那側では種々複雑した對應策を待つて居る。

第一日本の政治進出に對しては一面法的根據薄弱なる日本人の滿蒙企業乃至營業居住に對し極力防止策を講ずると同時に一面日本の無理無法を英米其の他に宣傳して國際的に對日警戒心を激發せしむる手段を採つて居る。又英米人は之を奇貨として國際的に日本の武力を封じて滿蒙に於ける日本の特權を漸次白紙に導かんと努め且經濟的にはドシドシ進出せんとして怠らない。

張學良氏は昨年吉會線交渉當時吉林其の他の反對空氣が緩和せざる限り自身これを抑へる力はないと言つたと同様に今日では日本との經濟提携を勤めても若い連中は今獨逸、米國に渴仰して居るものが多いから此の空氣を無視する譯には行かないと言ふて居る。

之等を綜合すると對應策の一端が判る。

第二、又日本の經濟的侵略に對しては一面盜賣國地罪を規定して日本人の土地購買を禁壓し其の他牧畜、鑛山等に關しても日支合辦を阻止する不文律により容易に許可を與へず、一面獨逸の技術と英米の資本を歓迎してデリデリと國際的對立勢力の出現を助長せしむる應待振りである。

第三の人口移植問題に對しては一面在滿蒙鮮人取締りを嚴にし之に壓迫を加へ又商埠地以外に住む日本人の退去を迫り、一面時恰も支那中部の難民移動期に際會せるを以て巧みに之を東蒙、黑龍江に送り夫々荒地開墾規定を設けて移民の充實を謀り之に應待して居る、最近は間島地方の鮮人に對しても眼を光らせ支那移民を以て之に代らせんとする計畫ありと傳へらる。

況んや金本位制をや、特産一手販賣權をや、日本人の手も届かざる事柄也

又滿蒙の鐵道政策に對して今の交通委員會は恰も先年蔣介石氏が日本の山東出兵を外に見て濟南を避けて北伐を完成せると同じ策法で、滿鐵線に觸ることなく自力による滿蒙の鐵道網を完成することをモットーとして萬事を計畫しあり。

加之撫順のオイメル工業に關し條約違反として抗議を提出し又鞍山の製鐵事業に關しても其の法的基礎薄弱なるに鑒みて抗議理由研究中である、將來于冲漢氏なき後の鞍山は一分糾免れざるべしとの事である。

これでは滿蒙の天地は日支の共存共榮の聖地どころではない、却て日支戦争の再發の伏魔殿である。依て筆者は華君に對し「支那の人は撫順のオイルセール工業や鞍山の製鐵事業に對し日本に抗議を申込んだ處で日本が聽くと思つて居るのか如何」と聞いて見た。そうすると華君は「古い頭」と言はん許りの顔をして次の如く語つた。

「日本が聽かないと言ふ君の先入主に何の根據があるか、華盛頓會議あたりで議題に上れば日本も大概は聽從するではないか、日本が卒直に農礦權の手續きを済まして事業を繼續する方針に出て呉れば支那は喜ぶか否らざる限り支那は平生の努力として華盛頓會議の材料を作つて置くのである、之れは今日の支那として已むを得ざる手段である。

日本も滿蒙は支那に代つて強露から取り返して遣つた處だ、支那は日本の恩義に感ずべきだ、少しは日本の無理も聽いて貰いたい等と獨り定めの舊い頭で、登場人物が變つてゐる今日の支那に向つた處で到底通用しないから積極的にやるなら先づ英米あたりを沈黙させて支那に臨んだらよいではないか、さうすれば支那には「沒有法子」と言ふ解決案がある。

然るに日本は英米には恐れを抱きながら支那に來ると兎角無理を強ひようとするから支那の當局者たるもの世間に對する面子上容赦相成らぬと言はざるを得なくなる。

結局日本も英米あたりに多少氣愛せねばならぬ筋合であるならば、又支那から物資を採り製品を支

那に賣ると言ふことが必要であるならば、支那に對しても折合をよくして應接することが必要ではなからうか」

其處で筆者は更に問ふた「夫れもそうだが支那も日本と折合をよくして應接することが必要ではなからうか」と。

これに對し華君は言ふ。

「それは勿論であるが、支那は自身が原産地であり又消費場であり且つ國が廣いから昔から自給自足で立つて居る。外國人は征服せられても本氣で恢復する時を待つことに馴れて居る、内亂の爲に北が工合悪しければ南に行く丈けのことである。

偶々野心家が出て大望を抱けば外國人と特殊の握手を必要とするかも知れないが一般支那人は外國人を御客様扱にして置く丈けである。自己を飽く迄中華を以て任じて居るのが其の國民性である」日本の様に逃げ隠れも出来ない小さな國とは譯が違ふと言つた態である。

四、日本は今後支那に對し如何なる態度で接すべきか。

長い難談の中に華君と筆者とは日本は今後支那に對し如何なる態度を以て接すべきかと言ふ問題に對し次の結論に達した。

○滿蒙の天地は今の處日支露の利害衝突地帯である。

○兵は凶事ではあるが戦争で解決すれば一番徹底的であるかも知れないが之は容易の事態ではない吾人の口にすべき事柄ではなし。

○支那は日本と戦争する意思も確信もないことは天下周知の事である。

○日本も今俄に支那と戦争する等のことは考へても居らず又種々不便な點があるならば戦争を爲ないと言ふ前提の下に支那と接衝すべきである。

○さすれば「戦争をすれば日本が勝つが」と言ふ氣分で支那人を土人扱する態度は慎しむべきである

○日本は支那の主權を重んずることを前提とし又支那は日本に對し滿蒙に於ける必要資源の開發を解放することを前提として萬事を相談する。

○行く行くは兩者の經濟事情を複雑にし利害關係を濃厚ならしめ第三者の離間があつても第三勢力の據頭があつても容易に國交斷絶も出來なければ片方を見殺しにすることも出來ない様に仕組むことが必要である。

○それには有力なる兩者の接衝機關の設置を必要とする。

茲に「田中義一上日皇之奏章」を日本文に譯して印刷に附するに當り之れを材料とする支那人の見た日本の滿蒙政策と之が對策に關する私見を述べて敢て序言とする。

昭和五年五月十五日誌之

例言

一、本年三月頃より滿洲に於て「日本侵略滿蒙政策」又は「節譯田中内閣對滿蒙積極政策奏章」の表題ある數種のパンフレットが支那側各方面に於いて頒布發賣されつゝある。

二、右は傳へられるところに據れば、余日章が五萬圓の出費によつて日本に於いてその原文書を手に入れ、これを英語に翻譯し、さきの第三回太平洋問題調査會會議に提出せんとしたのであつたが、他國の側よりの勸告あり、提出は見合せた、しかしその英文譯は諸外國へ配られたものであるといふ。

一、該文書の支那譯文は南京で發行されてゐる「時事月報」(民國十八年十二月第一卷第二期)に同誌編輯者の序文を附して掲載された。その後滿洲に於いては奉天の「建設」(張學良の主宰する雜誌)に掲載された。長春「大東報」、吉林「吉長日報」の兩紙にもその一部が掲載されたが、それ以外其地駐在の日本領事、總領事の抗議に依つて中止された。

一、數種の支那文パンフレットに就いて見るに、「驚心動魄的」なる形容詞を附した「日本侵略滿蒙政策」と題するものは、王若信、陸裕桐印贈と記し、十九年三月江蘇建設廳に於いて識した王若信の序文があり、四六版五號活字組本文五十頁である。なほ三葉の漫畫が挿入されてゐる。

「節譯田中内閣對滿蒙積極政策奏章」と題するもの、一種は、十八年九月北大に於いてと記した紀清

済の序文があり、四號活字組五十五頁であり、その長春大東報社印刷本は哈洋二角で發賣されて居り吉林商工會もそれを三千部印刷し配布した由である。問題のものゝ他の一種は新東北學會で印行され、それには本文の上欄に註釋的な激越語が陳ねてあり、哈爾濱、吉林の學生團體に依つて配布されたものである。又その一本には一頁分の撤文がある。

而して田中首相の上奏文と稱せられるその本文は何れのパンフレットも同一文章である。

一、以下、本文と四種の序文を譯出して、支那の民間團體に依つてなされつゝある反日的政治的傾向を窺ふ資とする。

本 文 譯 文

原序 四種

一 「時事月報」所載序文

一九二七年四月日本の田中義一（註——原本にはその略歴を記す）は首相に任ぜられ、六月東京に於て東方會議を召集、對支政策を討論した。駐支日本公使芳澤、關東長官兒玉、滿鐵社長安廣及び駐奉天總領事吉田、駐上海總領事矢田は皆召還を受け會議に參預した。この會議で議決されたのは、對支投資山東出兵、日支通商條約改訂及び滿蒙積極政策に關するものであつて、就中滿蒙積極政策が中心問題であつた。八月に至つて日本は旅順會議を開いたが（本來は大連で行はれる筈だつた）それは該政策を實施せんために逐步討議したのであつた。列席者は芳澤、兒玉、吉田、松井、町野及び主要な資本家數名であつた。三ヶ月も経たぬのに兩度の會議を召集した、その經過状態は吾人これを詳かにし得ない……だが旅順會議後芳澤來支して屢々我が東三省當局に向ひ滿蒙會議を開かんことを求め且つ種種の無理な要求（當時國民政府外交部長伍朝樞は駐日公使に警告の書函を與へたことがある）を提出したところを見ると、どうやらわかるやうな氣がする。

最近日本の對支行動は愈々逆戻に趨り、滿蒙の形勢は愈々緊張を見せて來た。本社同人は茲に於いて人を派し各方面より探查し真相を明らかにせんと欲した。最近東京の某處に於いて田中の祕密奏章

なるものを入手したので、原文より翻譯して掲載する。蓋しこの奏章が即ち當時の東方會議に於いて議決された滿蒙積極政策なのである。

滿蒙積極政策は實に遠く明治天皇の滿蒙併呑、全支那征服の遺志を承けて居り、之を約言すれば三項に分ち得る。

(一)政治的進取 日本は外交警察及び一般行政の政權を收めて滿鐵會社に與へ、同社をして徹底的に發揮せしめるやうにする。一方、蒙古王公と聯絡し、日本の退役軍人を祕かに圖什業圖王府等の地方に潜入せしめ、以て東蒙政治操縱の目的を達する。これは民國五年に日本が宗社黨の事を起したのを援助した陰謀と相等しい毒辣なものである。

(二)經濟的侵略 日本は引續き滿蒙の土地購買、牧畜、鑛山採掘等の權利を獲得し、同時に滿蒙の各鐵道を經營して東北の天然の寶庫を開發する。凡そ滿蒙に在つて營業する日本商人は極力これを保護し、滿蒙特産品販賣權の把持に努力する、進んでは金本位制度を施行し我國東北金融の張本を壟斷する。

(三)人口的移植 日本は引續き日本人が滿蒙に移植するのを奨勵し、同時に朝鮮人を驅逐して北徙せしめ、支那人の移動に對しては法を設けて阻止する、且つ蒙古王公をして支那人移入防止の法律を發布させ、支那人をして滿蒙に立足の地無からしめる。

その政策の奇々怪々にして荒謬なる、極點に達してゐる。讀者諸君は該奏章を一度通讀すれば自ら了知し得やう。二年來日本は何故に我國に二十一個條中の商租權承認を要求したのか？ 何故に我國が打通・吉海兩鐵道を自ら敷設することに反對したのか？ 何故に米國から巨資を借りて滿鐵の使用に宛てたか？ 何故に巨資を集めて無理にも東三省に大規模の鐵工場を設けんとするか？ 何故に奉天票を此の如く極點にまで暴落せしめたか？ 何故に朝鮮銀行等三大銀行の合併に進まんとするか？ 何故に張作霖を爆死せしめることを欲したか？ 何故に日支通商條約が今日に至るも改訂困難なのか？ 何を以てか内田康哉は西伯利亞途上に僕僕たりし？ 何を以てか海軍縮少會議を阻まんと陰謀する？ 何故に積極的に潜行艇を擴充する？ 何を以て太平洋會議に會いて日本は滿蒙問題に關して激しく争辯せんとしたか？ 讀者諸君若し上記の種々の問題につき解答を得んとせば、皆これを該奏章中に於いて求め得る。故に該奏章はただに將來の世界大戰の動員令たるのみならず、また我が民族の生死存亡を決する木鐸であり、更にまた日本が我國を滅し東亞を侵略せんとして自らつくれる告白書なのだ……關係は重大である、中華民國國民にとつては決して忽視することは出来ぬ。吾國が朝鮮臺灣の二の舞をやるか？ 或ひは伊太利、日耳曼の中興に倣ふか？ 全讀者諸君、この文に留意して之をトせよ。

二 辯 言

日露戦役以後、日本は露國を承襲し、南滿鐵道及び旅大租借権を獲得し、經營これ努め、餘力を遣さなかつた。政黨内閣が更迭しても、滿蒙侵略の政策は終始變ぜず、田中義一が日皇に上つた奏文を觀ても、侵略の密謀は、完全に暴露されて居り、その設計の周密なる、手段の毒辣なる、之を讀む者をして心悸せしめる！ 誠に滿蒙の幅員廣大なる、物産は豊富に、水土は肥美、耕牧みな宜しく、石炭鐵石油六百億萬元の價値を蘊藏し、加ふるに稀有の鑛産^{ツグネサイト、アルミニウム} 鐵 鉛 等あり、世界に比なき森林、羊毛を以てする、一たび開發されんか、實に至大の富源となるであらう。日本は壤地瘠小であり、此處に對して垂涎滴らんとするものがある。彼の國際視察團大連分局の統計に據るに、昨年一年中に、日人の滿蒙視察者、團體八百餘、人數は二萬三千人を逾えた。近くはまた國內に大規模の滿蒙館を設置し、滿蒙の農産、鑛物、及び各地詳細地圖を陳列し、以て彼國人の瀏覽研討に供へんとしてゐる。嗚呼！彼の日人の滿蒙を侵襲する、何ぞ其の兩兩是の如きか？ 吾が國を省みるに、年々内争に亂れ對邊境方策を怠つてゐる。吳鐵城氏云ふ「東北に至らざれば、中國の博大なるを知らず、東北に至らざれば、中國の危險なるを知らず」と。言殊に深切沈痛！ 近頃中央は國人の東北旅行を提唱し、鐵道部より優待辦法を規定し、三人以上は半額とした、吾が青年學生、實業家、教育家政治家軍事家よそれ速やかに起て！ それ速やかに起て！ 袂を聯ねて滿蒙に往き、之を經營し、以て吾が國を固めよ。滿蒙は地曠人稀、この地に民を移すことは、殊に當務の急である。日本の曾つての小村外務大臣は

二十年内に四百萬の日本人を移植する計畫を立てた。近年來は、韓人を利用して先驅となし、各地に廉價に土地を強買し、墾殖に従事してゐる。更に條約上に根據なき日本警察を遍く設け、以て保護だとしてゐる、我が遼寧當局は此に鑒るあり、移民墾荒大綱を制定し（附註を見よ）、凡そ内地各省政府或ひは賑災會等は、電商同意した、即ち移民は出關して、地を領して耕作し得、且つ自ら資本を持ち行くを要しない。浙江民政廳長朱家驊氏は、已に實行に着手してゐる。各地の賢明なる當局が、努力繼起せんことを、馨禱する次第である。

日人の滿蒙に對する、ただに政治經濟侵略のみではない。更に旅大租借地に於いて、公然と鴉片を官賣し、吾國人の往いて吸ふを誘ひ、月に捐三元を納めしめる。最近の統計では、新癮者三萬人を越えてゐる、また官民勾結し、モヒを密賣し、年收二百餘萬金、いはゆる關東廳疑獄事件を構成した。既にして我が金錢を剝削し、又我が身體を戕賊する、彼の日人の吾が同胞を毒害する、眞に其極を用ひざる所無してある！

右の田中の上奏文は、民國十六年に上つたものである。田中は死んだが、政策は變つてゐない。かの拓務省が設けられたのを見よ。南滿鐵道會社はその經營を變更したのを、四頭東方會議は大連に又東京に於いて開かれたのを。凡そ彼の上奏文に計畫された所は、一つ残らず實行された。かの所謂明治大帝の遺訓は、第一には臺灣掠奪であり、第二は韓國併呑、第三は滿蒙侵略であつた。いまは即ち

その第三期である！ 願はくば我國人、上下一心、共に外海を禦ぎ、彼の狡猾なる謀を洞察し、速やかに以て應付すべき所を思はんことを。殊に我が東三省邊防張司令長官が、不俱戴天の仇を慄れ、一意外に對し、軍武を整經し、庶政を修明し、國の干城たらんことを。彼の日人密謀毒計すとも、亦終に泡影と成らん云爾。

十九年、三月

王若信識 於江蘇建設廳

第一條 遼寧省ハ内地罹災民ヲ收容シ荒地開墾ニ從事セシメンガ爲ニ特ニ移民墾荒大綱ヲ制定ス

第二條 本大綱ハ已ニ興安屯墾區ニ編入セル洮安縣ハ別ニ規定アルヲ以テ之ヲ除キ其他ノ各縣ノ移民開荒地墾事項ハ總テ本大綱規定ニ依リ之ヲ處理ス

第三條 凡ソ内地各省ノ團體罹災民ノ壯丁ニシテ家族ヲ有シ關外ニ荒地開墾ノ爲移住セムト欲スル者アル場合ハ各省省政府附若クハ賑災會乃至法定慈善團體ヨリ先ヅ災民ノ戸口致ヲ本省政府若クハ民政廳ニ電告シ收容シ得ベキ人員ノ許可返電ヲ俟テ然ル後關外ニ輸送スベシ

第四條 東來災民國有鐵道ニ搭乘スル時ハ東北交通委員會制定ノ暫行墾荒難民輸送規定ニ遵ヒ乗車賃金ノ種別減免ヲ行ヒテ優待ス

第五條 關外ニ輸送スル災民ニ對シテハ各當該省政府若クハ關係箇所ヨリ農民タルコトヲ確認シタル上墾荒證明書ヲ交附スベシ而シテ本省省境第一驛ニ於テ検査照合シテ各縣ニ輸送シ開墾セシム

第六條 災民ガ關外ニ出タル後通過各驛及到達縣ニ於テ各當該地紳商ニシテ特別金員又ハ物品食料ニヨル援助ヲナセル者アル場合ハ事後ニ義捐救濟事業ノ表彰規定ニ依リ之ヲ表彰ス

第七條 開墾區域ハ當分 洮南、雙山、安廣、鎮東、開通、突泉、金川、安圖、撫松等ノ各縣トス

右各縣ハ可墾地數量ヲ委細調査ノ上遺漏ナク報告スベク其畝數ニ依リ災民ニ之ヲ配給シ適宜開墾ニ從事セシムルニ便ス

第八條 各縣ニ分配セル災民ガ當該目的地ニ到着セザル前ニ當該縣政府ハ豫メ地點ヲ定メ各正副村長ニ住所ヲ準備セシメ尙其地ノ資産家ヲ詳查シテ畜類、食料及種子ヲ借受ケ災民ニ貸與セシムベシ而シテ貸與食料ハ第一年目ノ收穫中ヨリ同種子ハ第二年目ノ收穫中ヨリ控除ノ上返還セシムベク畜類價格ハ第三年目ノ收穫中ヨリ償却セシムベシ以上總テ一割ノ利息ヲ附スルモノトス

第九條 凡ソ壯丁ハ荒地十畝ヲ受領シ期限ヲ定メテ開墾セシムベク五年經過後ニ至ツテ始メテ地租ヲ賦課スルモノトス

第十條 凡ソ開墾ニ從事スル災民ハ各縣土着農民ト同等ノ待遇ヲ受クルモノトス但シ災民ハ當該地ノ習慣ニ從フベク又共同責任ヲ有ス若シ違法行爲アリタル場合ハ縣ヨク調査ノ上處分ス其ノ甚シキ者ニ對シテハ所有地ヲ沒收シ境外ニ放逐スルコトヲ得ルモノトス

第十一條 本大綱ニ明文ナキ事項ハ總テ民政廳ニ呈准シ隨時之ヲ改修シ得ルモノトス

第十二條 本大綱ノ施行細則ハ當該各縣政府ヨリ其地ノ事情ニ應ジテ別ニ規定シ民政廳ニ報告シテ立案セシム

第十三條 本大綱ハ呈准公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 概

讀者よ、君の心が今も跳つて居り、君の血が今も流れてゐるならば、君の腦裏に中國の全圖が印せられてゐるならば、いかに君が多忙なりとも、いかに疲勞してゐやうとも、少しの時間を割いてこれを通讀すべきだ。讀んで考へろ。彼等の計畫、手段はかくの如きものだ、我々はどうしたらいいか？ どんな手段で對抗し防禦するか？ どんな道具で迎へ撃つかを。

序

この材料は本來極秘のもので、我々は友人から間接に入手した。さきにM君が日本より入手し、抄譯して自ら一本に印刷し數人の親友に贈つたもので、その封皮には「極秘、或る事情に因り、公表を憚る」とあり、其後轉々して私の許に來た。て私はこれを私に貸してくれた友人と計畫して、それを數千部重刷し、同胞に頒呈することにしたのである。

M君の原序中に曰く「本報告は何人たりとも抄録持出をなし得ないものを、友情關係に依り特に許

された。閱者は決して本報告が何れの方面より抄寫されたかを世に公表することなく、嫌疑者を出さぬやうにして欲しい。」

田中義一が組閣した二個年問——一九二七年組閣一九二九年總辭職——に於ける唯一の大政方針、且つまた最も心血を注いだ政策は、すなはち滿蒙積極政策の完成を希望したことであつた。これは疑ひもなく公認された事實である。だが我々は更に一步進んで認識しなければならぬ、滿蒙積極政策は田中義一個人の主張であるか否か、田中義一個人の積極性なのか否か？ かりに日本の對滿蒙政策が内閣の變更に因つて變更されると考へる者があるとすれば、それは實に大なる錯誤であるのだ！ 見よ「按ずるに明治大帝の遺策、第一期の臺灣征服、第二期の朝鮮征服等は皆既に實現された、ただ第三期の滿蒙を滅亡せしめて以て支那全土を征服すれば、即ち異服の南洋及び亞細亞全體は、我を畏れて服せざるはなく我が鼻息を窮はざるはない云々といふ大業が、未だ實現され得ずにある、これは皆臣等の罪である。」

彼のその所謂「明治大帝の遺業」から、日本の滿蒙積極政策は、何も田中義一より始まつたものではなく、これすてに明治大帝以來の、六十二ヶ年の一貫せる政策であることを我々は理解する。日本が滿蒙を滅亡せしめんと望むのは、ただ「支那全土の征服」の第一歩でしかないのだ！

されば我々はこの「田中内閣對滿蒙積極政策奏章」を讀んで、何もこれが田中義一の主張であると

萬々考ふべきではない。日本の對滿蒙政策は終始一貫せるものであつて、更に積極性を増すか、更に惡辣さを増すかであつて、決して内閣變更の爲にそれが變更せられることは決してない。

日本の滿蒙侵略の、政策の乖巧なる、計劃の周密なる、用意の惡辣なる、我々は決してこれを輕視することはできぬ。かれは赤露の攻勢を防禦しそれと滿蒙の利益を争はんとしてゐる、かれ曰く、「赤露の南下に對して我は極力之を防禦せざれば不可である。せひとも奉天政府を藉りて楔子となしその勢力の南下を阻まねばならぬ……南は支那勢力の北上を制すべく、北は赤露勢力の南下を制すべし。若し赤露と政治的に或ひは經濟的に角逐せんとせば、せひとも支那を驅つて前驅たらしめ、我はただ支那を背後に在つて督し、以て赤露勢力の伸張を防ぐべきである。而して我は更に他の秘密方法を以て赤露と提携して、支那勢力の増長を制し、而して我が滿蒙既得權への侵害を免るべきである。加藤内閣の時、我が後藤新平が日露外交恢復を唱へて露使ヨッフエの入國を迎へた目的は、大半は露を利用し以て支那を制せんとする目的に基いてゐた。

日本は我を利用して以て露を制し、露を利用して以て我を制せんとする心あるがために、屢々露支關係を挑發せしめるのである。これは甚だ賭易い事實であつて、日本電通等の電報通信は、内亂を挑發するものでなくんば、すなはち露支を離間せしむるものである。恨むべきは、中國人終始眼覺ひるなく、眼光生憎と豆の如く、私利のみ計り、彼の畏にかかつて計略に引懸けられてゐることである。

是に於いてあちらこちらの要人が互ひに誤解し、皆は結局一致共同することが出来ない。支那の要人が齟齬を生じた時に於いて、日本人は計畫當れりとして喜び、傍らに在つてセセラ笑つてゐるのだ。

我々には日本が露支間に在つてなす鬼計は既に明白だ、今次の露支事件がつひに此の如き地步に達してしまつた、日本はそれを使嚇したといふ嫌疑を避けることは出来ない。一方では露國に於いて、支那がいかに露國を攻撃せるか、いかに露國移住民を虐待せるかを宣傳して、露西亞人を憤慨させて我を攻めさせ、他方には支那に於いて、露國がいかに誠意なきか、いかに華僑を虐待せるかを宣傳してゐる。而して自らはどうか、こつそりと急速に南滿へ兵を動かし、露支戰爭勃發時には機に乗じて滿蒙を侵略せんと備へてゐる。ここに於いて瀋陽城外に於いて包圍的大演習をなすことを要求し、長春市街では實彈を籠めて銃を擔ぎ、大射撃の練習をなし、一方又東北當局に向つて吉會線問題會議を開催せんことを提議した。情勢未だどうといふこともないのに、彼等がてんでこ舞ひをしてゐるのもまた愉快ではないか。露支當局に較べてその十倍も、二十倍も御多忙なのである。その實際の所は、ソヴェート露國にも宣戰をする力なく、支那にも開戰の準備なく、彼をしてこの中間にかかる騒ぎをさせてゐては、状態をますます悪くさせるものだ。憐れむべくも露國當局及び民衆は、幾度か日本に利用されてゐてそれに氣付かず、居然再三我が邊境に爆彈を投下し大砲を放ち、大いに挑戰した、さ

れば、解決しなかつたのは僅か一局長の問題でしかなかつたのに、ソヴェート露國當局は日本人のために眼をくらまされてちつとも先きがわからなくなり、東支鐵道事件をあのやうな地歩にまで導いてしまつた、憐れでもあり憤恨すべきでもある！

日本は露支を離間して自ら東北に獨り霸たらんとするほか、なほまた朝鮮人を利用して我が東北を速かに亡ぼさうとしてゐる。

「且つ亦朝鮮人を藉りて階段となし得べく、而して支那民と一切の聯絡を付け得やう。一方には支那國籍に歸化した鮮民を利用して、大いに滿蒙の水田地を買收し、而して各地の信用組合或ひは銀行、或ひは東拓會社、或ひは滿鐵會社より、彼等支那籍の朝鮮民に資金を融通し、そして我が經濟侵略の司令塔となすのである。……思ふに、在滿蒙朝鮮人が二百五十萬以上に増加せんか、事有る秋には、即ち朝鮮民を主動者として軍事的活動をなし、更に取締の名目にてその行動を援助する、加之、滿蒙に在る鮮民の未だ支那に歸化せざる者がある、事到るといふその時には、支那籍の朝鮮民が亂を起すか、或ひは日本籍の朝鮮民が亂を起すか、何れとしても、羊頭を懸げて狗肉を賣るの方策を以て之に應じて起つことが出来る。」

彼のこの羊頭を懸げて狗肉を賣るといふ方策は、まさしく甚しい惡辣手段である、我々にして若し速かに防備をなさないならば、恐らくはその計畫に引懸る日が、極めて速かに來るであらう。現在東

三省に居住してゐる鮮人は、既に百二十萬前後に達して居り、南滿洲一帶に於いて水田耕作に従事してゐる者の殆んど全部は鮮人である。その上、彼等の大部分は支那人に對して惡い觀念を有してゐる。昨冬一友人が朝鮮に行つて朝鮮人と語つたとき、彼等の支那人に對する良からぬ觀念は殆んど一人一人みな同様なものだつたといふ、たとへば彼等は言ふ、支那人は汚い、支那人の生活は無秩序だ、支那人には向上心がない等々と、歸國の際友人は滿鐵沿線に暫く滞在した、而して彼の會つた鮮人の對支那人觀念もやはり會つて支那に來たことのない鮮人のそれと同じであつた由である。即ち日本が鮮人に對していかに支那人の好くない印象を彼等鮮人の腦裡に刻み付けやうとしてゐるかが知られる、加之、從來支那には移住して來る鮮民に對する嚴格な規定といふものが全くなかつた、移住入國に就いて既に制限する所がない、そして入籍については尙更ら嚴しい規定といふものが存しなかつた、是に於いてか彼等はすなはち面と支那に向ひそして必ず日本のために大いに田地を買ひ入れる。支那に居住せる鮮民は、一の大危險物だと言はざるを得ない、知らず政府方面之に對してすてに防備を施せりや否や？

そして更に憤恨に値ひするのは、支那人中に心肝を喪へる者多數あり、僅かばかりの利益を貪つて土地を朝鮮人に賣り間接には日本人に賣る、それはまだいいとして、中には利得以外の一切を顧みず公然偷み來つて直接日本人に賣付ける者がある、たとへば李品仙が十間房附近の空地を盜賣した如き

すなはち一例である。——本年七月十六日「華北日報」所載——これは訴訟が起つたため當局がこれを知り、公表されたものであつて、秘かに買られ、當局の知り得ぬものは、まだずつと多いのだ！ 彼等また知る由もないのだ！

かかる事件——國土盜賣——の發生については、東省當局もとより相當の責任を負はねばならぬ、だがまた咎を東省の教育の進歩の餘りにも置きことにも歸することも出来ぬ、換言すれば、東省の教育當局もまた一部分の責任を負はねばならぬ、實際の所不遠慮に言つて、現在東省教育當局には教育のために教育するといふ人材が確かに少な過ぎる！ 大部分は校長は地盤にして居り、教員は飯碗のためである、是に於いてか、攻撃、暗中策動が隨所に見出される、それ故寧々たる都市の數學校を別とすれば、平民教育、農村教育には誰も注意するに至つてゐず、ために一般民衆の頭腦はひたすらに利をこれ追ふてゐる。假りに現在の東省教育當局がなほ眼覺するなく、依然自己の利害を以て利害となすとせんか、將來に至つて東省の教育權が日本人の手に操られ、東省の青年が全く日本の奴隸と變じはる時に於いて、知らず、これらの教育家達慌てて流汗すとも得べきや否や？

現在日人の侵略にして我々の注意せるものはなほ未だ東北三省に過ぎなかつた、その實日人の外蒙古侵略の毒策は、更に吾人の豫想し得ざる所に存したのだ！

「滿蒙が舊王公の所有であるからには、我國將來の進出は、ぜひとも舊王公を相手とせねばならぬ、

……現に圖什業圖王府に在る我國の退役軍人は、計十九人である、而して王府よりの土地羊毛買入特權、或ひは礦山權は、均しく我が先に取つて其特權を定めたものである。その後多數の退役軍人を其地に密入せしめ、支那服を常用せしめて以て奉天政府の疑惑を避けしめ、該王府管内に散在せしめて製植牧畜羊毛買收等の權を實行せしめてゐる。……隨處に我國退役軍人を排置せしめて、以てその舊王公操縦に便してゐる。……其の土地所有權は十把一束の廉價で之を買入れる。……其の領土權未だ甚だ明瞭ならざる時に乘じて、且つ支那政府及び赤露が未だ注意をこゝに及ぼしてゐない時に於いて我國があらかじめ密かに勢力をこの地に扶植する。……本年より陸軍機密費の項より、百萬圓を抽出し、至急軍人四百名を派遣し、教師或ひは支那人に變裝せしめて、内外蒙古に侵入させ、各舊王公と握手を實現する。」

この蒙古侵畧の計畫は、露支を離間して夷を以て夷を制し、鮮人を利用し、羊頭を懸げて狗肉を賣る計畫よりも更に幾層倍か惡辣である。如何にしても、中央方面の邊省に對する不注意は掩ふべくもない。中央方面は内外蒙に於いて今日まで何らの處置方法を講ぜず、ために彼等舊來の王公をして依然として威張らせ、一切を操らせてゐる。之等の舊王公は本來相當な教育といふものを受けなかったことなく頭腦はこの上もなく暗迷であり、單に好い顔をして人が彼に對すれば、すべてを忘れてしまふのである。加之、中國政府が之を置いて構はなかつたため、ますます彼等をして日本に好感を持たせるやう

になつた。今や圖什業王府裡に於いては既に十九人の日本人が一切を操つてゐる、百萬圓を支出し、軍人四百名を派遣して教師或ひは支那人に變装させ、内外蒙古に潜入させて舊王公と握手を實行するといふ、それにこれは二年前の事である、現在に於いては兎に角どれだけの程度かの成績を擧げてゐるに違ひない。政府方面にして若し速かに王公の舊制を廢止し法を設けて内外蒙古を處置しないならば、この廣大なる土地は易々として日本人の手に落ちるであらうこと、想像するに難くない。我々がなほ放置すれば、日本人の事業進行はいよゝゝ速かになる、我々がどうにかしやうといふ時になつても、それは遅いのだ！

以上に調べあげた數項は、全書中の拳々として大なるものでしかない、その餘の魍々たる伎倆の數多は、我々の夢にも思はなかつたものが多い。

之を要するに、日本人の滿蒙侵略は、政策の狡猾なる、計畫の周密なる、用意の惡辣なる、我々は決してこれを輕視することは出來ぬ。彼等の移民は漸次に進んでゐる、鮮人利用は一方法である、赤露防禦は手段である、甚しきは世人の耳目をくらますにすら、既に早くより精密な計畫を有つてゐた。試みに思へ、かくの如き進み方を以て、方法を有し、手段を有し、計畫を有して侵略し來る、それに對抗するのは散り散りになつた支那人である、その成敗や如何？

それに、現在の東北問題は、既にして支那問題或ひは日本の問題ではない、現在の東北問題は既に

して世界の問題の一つである。日本の政策計畫はかくの如く狡猾であるが、しかし東北を完全に所有しやうといふには、その間になほ多くの困難を経過せねばならぬ。だが、この多くの困難は支那が彼に與ふるものではなくして列強が與へるものである。萬一不幸にも、日本が全省を領有することが出來ないならば、然らば、東省は列強角逐の場所と變じ了るであらう。若し中國當局と民衆とがなほも眼覺めず、現在の如くに散り散りになつてゐるならば、そのとき、利益は列強と日本とに所有され、損失は支那のものとなるであらう。結局支那は一として得る所無く、それを日本に取られたと等しいことにならう。

支那人のやる事は從來ずるだつた。だが、國內の他の事ならば、待つことも出來、延ばすことも出來るが、東北政策の確定は、一刻の躊躇をも許さぬものの如くである。我々にして待つて居り、遅延せしめてゐるやうなものならば、日本人はつひに中國人でなく、日本政府はつひに中國政府でないのだから、彼等は毫も遠慮する所なく、微塵の放慢をさも肯ぜずして進出し來るであらう。それに支那がぐづぐづしてゐれば、引延してゐれば、日本人はなほさら猛り立つて來るであらう！

現在支那に於いて事をなさんとするには、いかに緊急事たりとも、これを政府に頼ることは出來ぬから言つて間違ひないであらう。それ故、東北政策の確定について、全くこれを政府に頼つてゐては東北を葬るものに等しいのである。この際東北を挽回し救ふ方法は、すなはち我等民衆の側から立た

ねばならぬ。民衆側に於いて速かに團結し、精密な討論により、いかにして日本に對すべきか、いかにして自ら東北を開發するかを議し、それより一の政策を確定し、更に政府を督促せねばならぬ、政府はそのとき單に輔佐的地位に立つにすぎぬ、かくせば、我々の東北は喪失されずすむであらう。

我々は本書を通讀して、日本の東北侵略が時々刻々進められつゝあること、千辛萬苦しても目的を達せんとしてゐるものであることを知らねばならぬ、支那の當局、民衆は、覺醒せねばならぬ、利刃は頭に當てられてある、それをしよなほ眠つてゐるのか？

十八年九月 紀清漪 北大に於いて序す

田中義一の上奏文（秘）

昭和二年（民國十六年）七月二十五日

内閣總理大臣田中義一群臣を行率し、誠惶誠恐謹みて我が帝國の滿蒙に對する積極的根本政策に關する件を奏す

○滿蒙に對する積極政策

所謂滿蒙とは即ち奉天、吉林、黑龍江及内外蒙古是れなり廣袤七萬四千方里、人口二千八百萬人にして我が日本帝國の國土（朝鮮及び臺灣を除く）に比し三倍を逾へ其の人口は我が國の三分の一に過ぎず惟に地廣く人稀にして人をして羨望せしむるのみにあらず農鑛森林等の豊富なること世界に其の比を見ず仍て我が國は其の富源を開拓し帝國永久の繁榮を培養せんと欲し特に南滿洲鐵道株式會社を設立し日支共榮共存の美名を籍りて彼地の鐵道、海運、鑛山、森林、鐵鑛、農業、畜産等に投資すること四億四千萬圓に達す是れ誠に我が國企業中組織の最も雄大なものなり而して其の名目は半官半民なりと雖も其の實權は悉く政府の執るところなり且つ之れに外交、警察及一般政權を賦與して帝國主義を發揮せしめ特殊の社會を形成せしむるに至りては第二の朝鮮統監と異なるなきなり即ち滿蒙に對す

る權益は巨且大なることを知るべきなり故に歴代内閣の滿蒙に於ける施政は明治大帝の遺訓を奉し其の規模を擴張し新大陸政策を完成して以て皇祚の無窮と國家の隆昌とを保有せんとせざるなし歐洲戰後外交内政の變革に従ひ東三省當局も亦日に覺醒し來り我が國の後塵に従ひ著々産業の隆盛を謀りつゝありて其の進展の迅速なる實に人をして驚異せしむるものあり従つて我が國の勢力侵入に莫大の影響を受け幾多不利なる事象を惹起し歴代内閣の對滿蒙交渉をして成功不可能ならしむるに至れり殊に華盛頓會議に於ける九箇國條約の成立に依りて我が國の滿蒙特殊權益は制限せられて自由の行動不能となり我が國の存立も亦従つて動搖するに至れり此種難關は宜しく之を打開するにあらざれば我が國の存立亦鞏固なる能はず國力發展の據るところを失ふものなり矧や滿蒙の資源は悉く北滿地方に集中せるに我が國が自由進出の機會を失ふことに依り滿蒙の富源を我が有と爲すに由なきに至るべきは論なきところなり即ち日露戰爭に依りて獲得せる南滿の利權は九ヶ國條約に依りて多大の制限を受け我が國をして陸續として茲に進出することを不可能たらしめたるに反し支那人民が潮の如く毎年東三省に移住し來り其の勢萬馬奔騰の概あり數にして約百萬人を左右す甚しきは我が滿蒙に於ける既得權を威壓し我が國毎年過剩人口八十萬人をして安住の地なきに至らしむ是れ我が國の人口及食料調節政策上遺憾に勝へざるところにして支那人の滿蒙流入に對し之れが阻止の方法を講ぜざるに於ては五年後に於て支那人は六百萬人以上を増加し必ずや我が滿蒙に對する困難を益々過大ならしむべきなり回

顧するに華盛頓會議に於て九ヶ國條約成立以後我が滿蒙の進出悉く之れが制限を受くるや我が國の上下輿論駭然たり大正先帝密かに山縣有朋及其他陸海軍の重要人物を召され九ヶ國條約に對する打開策を會議せしめられしが當時巨義一命を奉し歐米を巡遊し密かに歐米重要政治家の意見を探索せるが九ヶ國條約は元來米國の主動に成りたるものにして之れに附和したる各國に於ては我が國の滿蒙に於ける勢力の増大に異論なく之れに依りて國際貿易及投資利益の安全を期し得るものと爲せり巨義一が親しく英佛伊等の首領と會商し彼等の我が國に對する誠意の頗る信ずべきものなることを知れり然るに惜むらくは我が國が彼等各國の内諾を機會に其の計畫を擴大し華盛頓に於ける九ヶ國條約を破棄せんとするに際し政友會内閣は突然倒解し我が國の計畫を實現せんとして實現すること能はざらしめたり言茲に及び痛嘆措く能はざるなり巨義一が歐米各國に於て滿蒙發展に關する秘密協商を遂げ歸途上海埠頭に於て支那人の爲に爆彈暗殺の厄に遭はんとし幸ひに事なきを得たるが其際一米國婦人が負傷せり是れ我が皇祖皇宗の神祐にして天が義一をして身を皇國に捧げ極東の爲め新局面を打開し新に皇國を振興して新大陸を造成せしめんとするに外ならざりしなり且つ東三省は東洋に於ける政治の不完全なる地方なれば我が日本が自己を保全し引ては他住民の保全を圖らんと欲せば必ずや鐵血を以てするを要し始めて當面の難局を突破することを得べし然して鐵血主義を以て東三省の保全を實行せんと欲せば第三國の米國は支那の夷を以て夷を制するの煽動手段に乗せられ起ちて我が國を制禦するの舉に

出するや必せり此の秋に當りて勢ひ我が國は米國と角逐するの已むなきに至るべし換言すれば日義一が上海埠頭に於て支那人の爆彈を喫したる際轉じて米國人の生命を脅かし而して支那人は安然無事たりしが如くに作爲するにあらざれば我が國運の發展望むべくもあらず曩日の日露戦争は實際は日支の戰にして將來支那を制せんと欲せば必ず先づ米國の勢力を打倒せざるべからざること日露戦争と大同小異なり而して支那を征服せんと欲せば先づ滿蒙を征せざるべからず世界を征服せんと欲せば必ず先づ支那を征服せざるべからず若し支那にして完全に我が國の爲に征服せられんか他の小亞細亞印度、南洋等の如き異服の民族は必ず我を敬畏して我に降服すべく世界をして我が國の東洋たるべきを知らしめ永久に敢て我が國を侵害することなからしむるに至るべし之れ乃ち明治大帝の遺策にして亦我が日本帝國の存立上必要事たるなり若し夫れ華盛頓の九ヶ國條約に至りては純然たる貿易商戰の精神に出てたるものにして英米の富力を以て日本の在支勢力を征服するものたり軍備縮少案の如きも亦英米等が強大なる我が國海軍力を制限し廣大なる支那領土を征服するの軍備能力なからしめ支那の富源を英米富力の吸収下に置かんとするものに外ならず一として英米が日本を打倒するの策略にあらざるなきなり顧るに民政黨等が徒らに華盛頓九ヶ國條約を前提として盛んに對支貿易主義を唱道し對支利權主義を排斥するも是れ角を矯めて牛を殺すの陋策にして亦我が日本自殺の政策なり蓋し貿易主義なるものは英國の如く強大なる印度濠洲等食料及原料の供給地を有し米國の如く南米加奈陀を控へて食料

及原料の供給を受くる便を有するものにとりては其の餘力を以て一意對支貿易を擴張して以て其の富力を増進し得べきも人口日に増加し食料及原料の日に減少する我が國の如き徒に貿易の發達を望まば終に雄大なる資力を有する英米の爲に打倒せられ何の得る所なきに至るべきなり而して最も恐るべきは支那民族日々の覺醒なり内亂正に盛なる時に際してすら支那人は能く勢々争つて日本商品を模造して以て自用に供し之が爲に我が國貿易の進展を阻害せらるゝ状態に在り而も我が國の商品は専ら支那人を顧客と爲す將來支那の統一實現せば工業必ずや之に従つて發達すべく歐米の商品は支那市場に於て競争販賣せられ我が國の對支貿易必ず大打撃を受くべきなり民政黨の主張たる九ヶ國條約に依據し貿易主義を以て滿蒙に直進すと云ふが如きは自殺政策に外ならざるのみ我が國の現勢及將來を考ふるに若し昭和新政を樹立せんと欲せば必ず積極的に滿蒙に於ける利權を強取するを以て主義と爲し利權を以て貿易を培養すべし此れ支那工業の發達を制するのみならず歐米勢力の東漸を回避し得べく策の優にして計の善なるもの此に過ぎたるものなし我が對滿蒙利權にして眞に我が有に歸せば滿蒙を根據とし貿易の假面を以て支那四百餘州を風靡し尙滿蒙の利權を司令塔として全支那の利源を攫取し支那の富源を以て印度及南洋各島進んでは中小亞細亞及歐羅巴を征服するの資となすべく我が大和民族が亞細亞大陸に歩武せんとする第一の大關鍵は滿蒙の利權を把握するに在り況んや最後の勝利は食糧に賴り工業の隆盛は原料に賴り國力の充實は廣大なる國土に賴るなり我が對滿蒙の利權を積極政策に依

り之を擴張せば此種大國の要素を解決し得ること勿論なり而して我が國年々の過剰人口七十萬人に對する問題も亦同時に解決し得べきなり昭和新政を樹立し我が帝國永久の隆盛を致さんと欲せば唯積極的對滿蒙利權主義の一事あるのみ

滿蒙は支那の領土に非ず

茲に所謂滿蒙とは歴史上支那の領土にあらず亦支那の特殊區域にもあらず我が矢野博士は支那歴史研究に努め滿蒙は支那の領土に非ずと爲し既に帝國大學より之を世界に發表せり我が矢野博士の研究發表が正當なるものなりしを以て支那學者にして我帝國大學の立論に反對するものなし最も不幸なるは日露戰爭當時我が國は宣戰布告に於て明に滿蒙が支那の領土なることを認め居り又華盛頓會議の九ヶ國條約に於ても滿蒙を支那の領土と爲せるを以て外交上茲に支那の主權を認めざるを得ざることにして右二箇の過失に依り我が對滿蒙權益に禍を貽せり若し支那の過去を以て論ずれば民國成立し五族共和を宣言したりと雖も西藏、新疆、蒙古、滿洲を以て悉く特殊區域と爲せり又特に王公に對して舊制度の存續を許し居るものなれば滿蒙の領土權は王公の手中に在り我が國は今後機會ある毎に其の滿蒙領土權の真相を世界に知らしめ機會に乗じて漸進的に内外蒙古に進出し以て大陸を更生せしむべきなり且つ内外蒙古は舊制度に據り政治を施し其主權は明に王公の手中にあるものなれば我に於て内外蒙古

に進出せんと欲せば宜しく蒙古王公を相手として利權條約を締結すべく斯くて綽々たる機會に乗じ我が國の勢力を内外蒙古に増進し得べきなり南北滿洲に對する利權に至りては二十一ヶ條を以て根據と爲し勇往邁進し別に左記の附帶利權に依りて以て我が既得の權利を擴充し永久に其の利益を享有すべきなり、

- 一、三十年商租期限滿了後更に自由に其の期限を更新し且つ商工農業の爲め商租權を確認せしむる事
- 二、日本人が自由に東部内蒙古に居住往來し各種商工業を經營し南北滿洲に出入する場合支那法に依り課税又は検査すること能はざらしむ
- 三、奉天、吉林等に於ける十九箇所の鐵及石炭の採掘權及森林伐採權の獲得
- 四、南滿及東部蒙古に於ける鐵道の敷設權及鐵道借款優先權
- 五、政治財政軍事の顧問及教官の増聘及聘備優先權
- 六、朝鮮民取締の爲の我が警察の駐在權
- 七、吉長鐵道の經營管理權九十九ヶ年延長
- 八、特産物專賣權及歐米貿易の輸送優先權
- 九、黑龍江礦産物の全採掘權
- 十、吉會、長大鐵道の敷設權

- 十一、東支鐵道回收の際に於ける借款供給特權
- 十二、安東、營口の海港權及運輸聯絡權
- 十三、東三省中央銀行設立合辦權
- 十四、牧畜權

○内外蒙古に對する極積政策

滿蒙は舊王公の主權に屬するを以て我が國將來の進出には必ず舊王公を相手と爲し我が勢力を扶持すべきなり故に故福島關東都督の長女は皇國の犠牲となり金枝玉葉の身を以て未開民族たる圖什業圖王府の顧問と爲れり加之圖什業圖王府の妃は肅親王の姪女なる關係上同王府と我が國とは頗る密接の間柄に在り我が國が特に特殊の利益及保護を以て之を羅致するに依り内外蒙古各王府は誠意を以て我が國を敬せざるなし現在圖什業圖王府内に在る我が退役軍人は十九名ありて王府より土地の買收權、羊毛特買權、鑛山採掘權等を獲得し總て我が國の先取特權と爲れり此の外尙多數の退役軍人を彼地に密派し常に支那服を着用せしめて奉天政府の嫌疑を避け該王府管内に散在して開墾牧畜を爲さしめ羊毛等の買收を爲さしめつつあり其の他の王府に對しても右圖什業圖王府に對すると同様の手段を以て進入し到る處に我が國の退職軍人を駐屯せしめ舊王公を操縦せしむべきなり而して我が國民が多數内外蒙

古に移住したる曉には土地を十把一東の安價を以て買收し水田と爲すべき土地には食用米を種植して以て我が國の食料不足を補ひ水田と爲すべからざる土地には盛に牧場を設けて軍馬及牛を牧養して我が國の軍用及食用に充て其の剩餘は罐詰に製造して之を歐米に販賣し其の毛皮亦我が國の不足を補ふ用に供すべし斯くて時機一たび到らば内外蒙古は我が國の有と爲るべし即ち其の領土權の歸屬明確ならず且つ支那政府及赤露の注意の及ばざるに乘じ我が國が密かに其の勢力を扶植し内外蒙古の土地の多數が我が國の買收するところとなり蒙古は蒙古なりや將又日本人の蒙古なりや世人をして辨白し能はざるに至らしめ斯くて我が國力を以て我が主權を扶持し我が積極政策を實行すべきなり即ち蒙古に對しては我が國が以上の政策を以て行動することとし本年以降陸軍機密費より一百万圓以内を支出し至急軍人四百名を派遣し教師或は支那人に變裝して内外蒙古に潛入し各舊王公と握手を實行せしめ其の地の牧畜、鑛山等を取得して國家百年の計を樹立せんとす

朝鮮移民の獎勵及び保護政策

日韓併合以來一時小康を得たりと雖も歐洲大戰後米國大統領が民族自決主義を唱へ弱小民族を憾動せしめたるより鮮人亦之れに煽られ不穩の空氣鷄林八道に充滿し滿洲警察の不完全なるに乘じ彼等不逞鮮人は滿洲を以て策源地となす又滿蒙到る處利源豊富にして鮮人の移住に適するを以て鮮人の移住す

るもの日に衆多にして今日東三省に居住する鮮人は殆んど百萬人以上に達す此の如き現象は我が帝國の對滿蒙利權上求めて得べからざるところにして眞に國家の爲め一大幸福事たり而も亦我が帝國の對滿蒙國防上及經濟上無上の勢力を添加するものにして鮮民の統治に大なる曙光を顯出するものなり然して東三省に移住せる衆多の鮮人は母國民の爲に滿蒙の處女地を開拓し母國の進取に資するものにして又此等の鮮民を手段として支那人民と聯絡し一面支那國籍に歸化したる鮮人を利用して盛んに滿蒙の水田を買収し各地の信用組合、銀行或は東拓或は滿鐵より彼等歸化鮮民に資金を融通せしめ以て我が經濟侵略の陣營と爲すべく又我が食料の生産増加を來し國難を救ひ得べく是れ新殖民地開拓の一機會たるなり右の歸化鮮民は支那の國籍を有すと雖も久しからずして我が國籍に歸復するものにして南米に於ける歸化日本人と其の趣を異にし只一時の便宜上歸化して支那人となるのみ滿蒙移住の鮮人にして二百五十萬以上に達せしむれば有事の秋に當り鮮人を分子として軍事活動を爲さしめ之が取締の名目を以て其の行動を援助する便宜あり尙鮮人中支那國籍に歸化せる者と然らざる者とあれば事態新の如くに至れる際歸化鮮人の動亂たると日本鮮人の擾亂たるとを問はず羊頭を懸けて狗内を賣る方策を以て之に應對することを得べし然れども我が國が鮮人を利用して以上の如き行動に出ずることを得ると同じく支那政府が鮮人を利用して支が國を制すことあるべきに備へざる可らず滿蒙は支那の行政區域なると同時に我が國の政治區域なれば若し東三省政府にして鮮人を利用し敢へて我國を制禦せ

んとせば我が國用兵の機會を促進する所以なり只最も恐るべきは赤露なり支那が赤露の魔手を利用して鮮民を煽動せんか我が國の思想一變し國難立ところに至るべし現内閣は此れに對して充分の警戒を爲し事を未然に防ぐ必要を認め又我が國が新大陸を開拓せんと欲せば鮮人の保護及取締を一層嚴重に行ふこと必要なるを以て三矢協定に依て我が國が北滿地方に於て遍く警察署を設置することを承認せられ居るものなれば更に之れを擴張して警察力を充實せしめ以て鮮人の懐柔及援助の急速なる促進を期すべく又別に東拓及滿鐵をして之れが後楯として鮮人の經濟及金融を援助せしめ鮮人の力を藉つて内外古を開拓し其商權を把握すべきなり即ち鮮人の滿蒙侵入は明に帝國の國防上經濟上最も密接の關係あるものなれば今後政府は其の成功を極力援助し以て帝國の發展の新機會を作ること肝要にして殊に石井ランシング協定に依る我が帝國の滿蒙に於ける特殊地位は已に華盛頓會議に於て之を放棄したるものなるが幸に鮮人移住日に多く現に其數百萬人以上あり且つ其の投資日に増大するものなれば此に因りて石井ランシング協定上の特權を朝鮮移民の新問題を藉つて以て之れを恢復し得べく斯の如き事態を以て其の特權を恢復することに對し法理上國際間に敢えて我が國に反對するものなかるべし

新大陸の開拓と滿蒙鐵道

交通は國防の母にして戰勝の保證たると同時に經濟の堡壘なり支那全國の鐵道は僅かに七千二百哩

なるに對し滿蒙は其三千里を有し全數の四割を占む然れども滿蒙の土地廣大にして産物の饒多なる五六千里の鐵道ありとするも其用に足るなし加之我が國の敷設せる鐵道は多く南滿にありて未だ物資の豊富なる北滿に進出せざるは殊に遺憾とす加之南滿地方には支那人の居住頗る多く國防上經濟上甚だ我が國に不利なり我が國が其富源を開拓し國防を鞏固ならしめんと欲せば必ず北滿鐵道の敷設に力を注ぐ要あり而して其鐵道の開通に依りて多數の國民を北滿に移住せしめ南滿の政治及經濟を掣肘し我國の國防を強固にし以て東西の大局を定むることを得べし既成の滿鐵は主として經濟鐵道にして循環線路にあらざれば戰時の動員及軍需運搬に頗る不利なり今後の軍用を目的として滿蒙に一大循環鐵道を建設し滿蒙の中心を包圍し以て支那の軍事政治經濟等の發達を制し露西亞勢力の侵入を防禦する必要あり是れ我國の新大陸形成上最大必要の關鍵なり現在の滿蒙鐵道に二大中心點あり一は東支鐵道にして他は滿鐵なり支那自設の鐵道としては吉林省政府の餘裕を以て久しからずして一大勢力の鐵道を實現し得べく且つ之れに加ふるに奉天及黑龍江の財力を以てすれば支那鐵道の勢力は遠からず滿鐵を凌駕し必ず激烈なる競争を現出すべきなり然れども幸に奉天省の經濟紊亂し若し我が國が之れが經濟に力を貸すにあらざれば恢復の力なし我が國は此時を利用し勇往邁進し我が鐵道上の目的を達成し且我に於て極力煽動を行ひ奉票をして益々暴落せしむれば奉天政府は必ず赤露財政の轍を踏むべきは拭目して待つべく從つて彼に於て滿蒙開拓の力無きなり只東支鐵道の勢力は之を打倒すること頗る困

難にして而も不幸にして其線路は我が滿鐵線と丁字形をなし丁字形は有利なりとも雖も軍事上の進展には頗る不便なり若し支那の新設鐵道をして東支線北方背後地を開拓せしめんとせば東支線と平行して西を起點として東に向はしむること最も妙なり我滿鐵を中心として論ずれば支那新設鐵道を北を起點として南行せしむること必要なり支那自身の利益より見るも北より南行せしむるは大なる利便あるものなれば我が國の利害と大なる抵觸なし幸に赤露の勢力日に衰へ既に滿蒙に進出する力なく今後支那の鐵道敷設は必ず我が日本の指圖に聽從すべきこと疑なし然るに奉天政府は邇來軍事的見地を第一として打通線及吉海線を敷設せり之れ支那政府が經濟に疎く専ら軍事上の打算を以て之を敷設したるのみ我が國は此の二線路の完成に依り對滿蒙の國防上經濟上多大の打撃を受け滿鐵亦損害を被るを以て支那政府に對し強硬の抗議を提出せり右二線路を支那をして開通せしめたるは我が出先官憲及滿鐵當局が奉天政府の力を誤算し事前に注意を怠りたるに基くものにして事後極力之を阻止せんとするも已に鐵道は完成し在り加之又米國人は英國資本家を利用し葫蘆島の築港に投資せんと欲しつつあり支那が其の壓迫を受け打通及吉海に英國の資金を引入れ反つて我が國の滿蒙に於ける強敵を増長せしめんことを恐る故に有耶無耶の手段を以て之れに對應し機會を待つて更に支那政府との間に此の二鐵道問題を解決すべきなり

此の頃頻りに傳へらるる所に依れば奉天政府の計畫は打虎山より通遼を経て更に扶餘に進み哈爾濱に

至りて終點となる鐵道を敷設し北京より滿鐵東支の二鐵道に依らず自國の鐵道を以て自由に哈爾濱に通せんとするものにして更に最も恐るべき計畫は奉天を起點とし海龍、吉林五常を経て哈爾濱に達せんとするものなり

以上の計畫は左右二線を以て我が滿鐵線を包圍せんとするものにして滿鐵が支那の此の二線を以て包圍せられんか其の背後地は變じて一小區域となり我が滿蒙及支那に對する政治經濟の發展は悉く制限を受け縮小せらるることとなり華盛頓九ヶ國條約と同様に我が國威の滿蒙伸張を制禦するものなり
想ふに右二鐵道完成したる曉に於ては我が滿鐵線は無用の長物となり滿鐵が一大恐慌を來すべし支那今日の財政に於ては外債の借入を爲すにあらざれば右計畫實現の力なく且つ自己の財政を以て此の二大鐵道を敷設したりとするも吉林より奉天を経て或は扶餘、開通より通遼を経て連山灣に至るに其の運賃必ず滿鐵に依るよりも多額を要すければ此の點に於ては我が國は安心し得べきも萬一此の二鐵道完成の曉支那が經濟を主眼として東支線をして運賃を特別に低減せしめ以て我が滿鐵と對抗せんか我が國が莫大の損失を蒙るのみならず東支鐵道としても等閑視すべからざる一大事にして日露兩國は斷じて支那鐵道の跋扈を輕視すべからざるなり殊に東支鐵道の今日に於けるや齊齊哈爾及哈爾濱を以て收入の最大なるものとなす若し支那の此二大鐵道或は大賚安通間の線路完成せば我が滿鐵に比し更に其の慘害を蒙るべく東支線の苦痛の巨大なること疑ふ餘地なし更に滿蒙鐵道に對する競争状態を見るに

支那の敷設せんとするものは

索倫より洮南に至る鐵道

吉林より哈爾濱に至る鐵道

赤露の敷設せんとするものは

安達より伯都納に至る鐵道

吉林より海林に至る鐵道

興凱湖の密山より穆稜に至る鐵道

にして此の赤露の計畫は東支鐵道を培養し帝國主義を發揮せんとするに外ならず右計畫鐵道の方向が多く東西に亘る所以なり蓋し赤露は國力衰へたりと雖も滿蒙進出の野心止まず其の一舉一動我が國の進出と滿鐵の利益とを阻碍せざるなし我が國は赤露の進出に對しては極力之れを防止せざるべからず須らく奉天政府を楔子として其の勢力の南下を阻止すべきなり我が國は第一着手として赤露南下の防備を口實として漸次北滿地方の進出を擧行し以て其の富源を攫取し南は支那の勢力の北上を制し北は赤露の南下を制すべきなり而して赤露の政治或は經濟と角逐する爲には必ず先づ支那を前驅と爲し我が國が其の背後に於て之れを監督し以て赤露勢力の伸張を防禦すべきなり而して我は別途機密の手段を以て赤露と提携し以て支那勢力の増長を制し我が滿蒙の既得權を擁護すべきなり加藤内閣の當時我

が後藤新平が日露外交の恢復を唱へヨツフエを招致したる目的は其の大半露國を利用して支那を制するに在りしなり然るに東支鐵道と滿鐵とは南滿の產物輸送に關し南下數量百分の五十五、東行數量百分の四十五の協定ありと雖も公然の祕密方法を以て其の運賃の特別低減を行ふを以て我滿鐵は莫大の危険と損失とを蒙り居れり更に赤露が我が國に對して爲せる宣言に曰はく露支の國境は不幸にして弓形を爲し居り露國に於て領土侵略を欲するものにあらずと雖も弓形の北方は地寒く物稀にして鐵道敷設の價値なきものなれば東支鐵道を把守して利益の分配に與らざるを得ず故に東支線は斷じて放棄すること能はず加之露國の太平洋に於ける唯一の海港は浦鹽港にして此の海港は東支線有りて始めて存在の意義を有す露國にして東支線を放棄することは太平洋を放棄することなりと赤露の主義此の如くそは益我が國の不安を増加するものなり

而して我が國が滿蒙に對し徒に滿鐵のみに倚賴し満足を得べきにあらず我が國進出の現状及將來に鑑みれば南北鐵道を我が手中に收めざれば不可なり殊に大富源を擁する北滿及東蒙古方面は我が發展の餘地頗る多く且つ有利なり南滿に於ける支那民族の日に増加し政治上經濟上頗る我が國に不利となる状態なれば北滿の地盤に至急進出して國家百年の隆盛を計らざらべからず赤露の東支鐵道が北滿を橫斷するが如きは我が新大陸形成に對し大なる阻碍となる我が國が最近の將來に於て北滿地方に在りて必ず赤露と衝突の時機あるべく其の時に當りては日露戰爭の例に依り滿鐵の代りに東支鐵道を獲取し

大連の代りに吉林を獲取することとなるべく北滿の富源の爲に我が國が再び南滿の曠野に於て露國と角逐することは我が國運發展上勢の免れ難きところなり蓋し此の難關を打破するにあらざれば我が滿蒙に對する暗礁は之を除去すること困難なるべし現在の情勢に於て支那政府に要求して各軍事上重要な鐵道の完成を待ち其の鐵道の及ぶ限り北滿地方に極力進出するとせば赤露は必ず來りて干涉と破壞とを試みるべく此の時は即ち我が國と赤露とが衝突を來すものなること疑なし我が國が速急完成を實現せんと欲する滿蒙鐵道は左の如し

通遼熱河間鐵道

本線の延長は四百四十七哩にして建設費約五千萬圓を要す此の鐵道にして完成せんか我が國の内蒙古開發に一大貢獻を爲すべく滿蒙鐵道中軍事上經濟上最も價値あるものとす内蒙古全體に就て見るに我が陸軍省滿鐵會社等が之が調査を爲すこと十回に及びたるが其の結果に依れば内蒙古には水田可耕地頗る多く之れに人工的施設を加ふれば將來我が國民少くとも二千萬人を容るゝことを得べし又内蒙古産出の牛は二百萬頭あり將來我が國が本鐵道に依りて之れを取りて食料と爲し且つ之れに加工して歐米に輸出し得べし尙羊毛は蒙古の特産品にして我が國産の羊は一年に就き一頭二斤の毛を剪取し得るに過ぎざるに對し蒙古羊は六斤を剪取し得るものにして我が滿鐵會社にて再三試験を行ひたるが皆然

らざるなし而して其の品質を濠洲産のものに比するに更に優良なること數倍し其の價格の低廉にして産額多く品質の優良なる世界未知の大富源なり我が國が本鐵道を掌握し極力之れを擴張せば少くとも今日の産額に十倍するに至るべし然して此の如き富源は未だ世界に知られ居らず以て羊毛の産出如き英米と我が國との競争を防止し得べきなり故に我に於て率先して此の交通權を把握し然る後極力蒙古羊毛の開拓を爲さば我が國の羊毛は自給自足となり尙加工して毛製品となし歐米に輸出し得べし且つ完全に内外蒙古王公と握手せんと欲せば本鐵道に依るに非ざれば不可なり我が手に依りて蒙古を開拓せんと欲せば本鐵道に依らざれば不可なり我が手に依りて蒙古を開拓せんと欲せば本鐵道に依らざれば蓋し我が帝國主義の内外蒙古に於ける浮沈は一に本鐵道に在りて懸れり

洮南より索倫に至る鐵道

本鐵道は延長百三十六哩にして建設費は一千萬圓を要す我が帝國の將來を按ずるに必ず再び赤露と北蒙の平野に於て角逐することあるべく本鐵道成立せんか我が南滿の軍兵は本線に依りて赤露軍の背後に迫り得べく又赤露軍の北滿増兵を阻止し得べし經濟上より見るも本鐵道に依りて洮兒河流域の富源を強取して滿鐵を培養し又我が國に接近しつつある札薩克圖王府及圖什業圖王府に對しても本鐵道を利用して以て我が國の勢力を扶植し其土地を開拓し得べし我が國が内外蒙古王公と握手し其の土地

山牧畜商業の權利を獲得し以て將來有用の機會に備へんと欲せば専ら本鐵道に依りて内外蒙古に侵入し一方通遼熱河の鐵道を利用して南蒙古に侵入し南北相應呼して進むべきなり而して其の産物の豊富となるを待つて更に此の二線に依りて遠く外蒙に進出し以て我が國運を無窮に發展せしむべきなり然れども洮索線の完成に依り最も恐るべきは滿蒙移民を多數蒙古に誘引し以て我が對滿蒙積極政策を破壊せしむるに至るべきことなり斯くては第二の滿蒙を現出し徒らに滿蒙人をして其の福祉を享樂せしむるのみにあらざるか？然れども幸にして沿線の鑛山及土地は皆蒙古王公の所有なれば我に於て豫め其の權利を買收せば支那人排斥に術なきを思へざるべし又我が強制力を以て蒙古王公をして支那人侵入豫防の法律を制定せしめ得べく斯くて蒙古侵入の支那人をして安全に生業を營ひこと能はざらしめば自然支那人も遠ざかるべく其他之れが防止の手段少なからざれば我が國が極力防止の方法を講ぜば支那人をして蒙古に足跡を印すること能はざるに至らしむべし

長洮鐵道の一部鐵道

本鐵道は長春より扶餘、大賚に至るもの即ち長春より洮南に至る鐵道の一部にして延長百三十一哩建設費一千一百万圓を要す、本鐵道は經濟上最も有利なるものなり蓋滿蒙の富源は悉く北滿に集まり居るものなれば本鐵道にして敷設せられんか我が國の北滿進出は頗る便利となり且つ東支鐵道を壓して

滿鐵の利益を培養し得べく又松花江上流は農産物頗る豊富に、可耕地頗る廣大にして大賚附近には月亮泡ありて水力電氣を起すことを得要するに此の長洮線の一部は將來必ず工業農産加工の一大地域となるべきなり

又此線路完成せば大賚より洮南に或は安達に或は齊齊哈爾に三方面に線路を延長して以て西比利亞鐵道を脅し北滿の富源を把取し一方黒龍江進出の第一歩たるを得べきなり加之長春より洮南に至る線と長春より扶餘、大賚を経て洮南に至る線とは一小循環線と爲り軍事上最も好都合なる交通路を形成す我に於て蒙古に進出せんとせば此の小循環鐵道を速成せざるべからず而も此の長洮沿線は地廣く人稀にして其の土地の肥沃なる五十年間肥料を施さずして收穫無きに至る恐れなし此の鐵道にして我手中に歸せんか北滿及蒙古の富源は盡く我が有に歸すべく又其の沿線我が移民二、三十萬人を容るゝことを得べし將來吉林、教化と我が朝鮮會事線とが連絡開通の曉には蒙古及北滿の富源は一直線に東京及大阪に至るべく有事の際我が東京よりの出兵は日本海を経て直に北滿及蒙古に達すべく支那陸軍は北滿地方を突破するの力なきや必せり而して日本海に於ては赤露の潜水艇が我が朝鮮海峽を脅威する力なし我が日本としては唯々吉會、長大二線の速成を希望するものにして然らば食料及原料に於て自給自足を爲し得べく何國と戦ふも自由自在たるなり斯くて我が對滿蒙交渉は何事に拘はらず支那政府をして我が施設の周到なるに懼をなし必ずや我に畏從せしむるに至るべく明治大帝の第三期滿蒙滅亡の

計畫は唯此の吉會、長大二線路の成功に懸れり加之長大線若し成らば滿鐵を培養して其の利益を増進し長大線自體亦利益を擧げ得べく此の長大線敷設は滿蒙經濟發展上最大必要の積極政策なり

吉會鐵道

吉林より教化に至る鐵道は已に竣工せるも教化より會事に至る鐵道は尙未だ實現せず會事老頭溝間には二呎六吋の狹軌鐵道ありと雖も新大陸經濟發展の用に足らず其の改築には八百萬圓を要し教化、老頭溝間の建設費一千萬圓を要するものとして二者合計二千萬圓の巨額を要す此の線路の完成は即ち我が新大陸主義の完成にして從來歐洲に向ふ者は大連或は浦驪を經由したるものなるが右完成の曉には清津港より會事を経て西比利亞鐵道に依り歐洲に至るべく東洋交通の大動脈たるに止まらず將來旅客と貨物とを論ぜず必ず皆我が地方を經由すべし斯くて我に於て此の交通大動脈の權を把握せば誰に憚る所なく滿蒙を侵略して明治大帝の第三期滿蒙滅亡の計畫を實行し得べく斯くて大和民族の世界征服を實現し得るなり明治大帝の遺策たる第一期臺灣の征服第二期朝鮮の征服は盡く實現したるが第三期たる滿蒙を滅亡し以て支那全土を征服し斯くて東洋及亞細亞全體をして我に畏服し我の鼻息を仰がしむるの大業は尙未だ實現するに至らず是れ皆臣等の罪なり吉林及奉天、黒龍江の一部分は我が古歴史上肅慎民族と爲したる地方にして今日沿海洲、黒龍江畔、豆江流域に繁殖せるものは是なり其の民族

の沿革は古來肅慎、獯鬻、挾婁、沃沮、扶餘、契丹、渤海、女真と稱せられ其の興廢多種多様にして其の實質の良否亦不同なりしなり我が國の清正公は會寧及間島に遊撃し愛靉覺羅は安寧附近に起り先づ教化間島琿春地方を策源地と爲し大清天下三百年の基礎を確立せり吉林の歴史此の如し我が新大陸を形成し以て極東の眞面目を開かんと欲せば先づ吉林に勢力を樹立せざれば滿蒙を征服すること能はず従つて世界を征服すること能はず故に吉會線の完成は即ち我が昭和新政の完成、新大陸の完成、即ち亞細亞全洲征服の完成なれば我が國策上最も重大なる線路にして國益生産の重要線路なり

○吉會線及び日本海を中心とする國策

吉會線の終點を清津、羅津、雄基の何れに置くべきかは我が國が自由に時宜に應じて取捨變換して可なるも現勢の國防より論ずれば羅津は唯一無二の終點良港にして又世界貿易の良港たり得べく一方赤露の浦鹽港を粉砕し一方北滿の豊富なる物産を吸収し滿蒙の繁榮を我が國土内に招致し得べきなり大連港は滿蒙と同様我が領土に非ず我が新大陸形成以前に於ては施設上頗る手数を要し萬一最近の將來に於て戰爭勃發し我が國は滿蒙の富源を大連港に求めざるべからずとせば敵艦に依り對島海峽及千島海峽に於て之を封鎖せらるることとなり我が國は滿蒙の富源を攝取すること能はずして遂に戰敗國と爲るべきなり誰が知らん歐洲戰爭の際米國が暗に英國と通し一舉一動我が國の對支行動を牽制せんと

せり我が國の獨立の爲には米國と一戰を交へて以て支那及世界を戒めざるべからず米國には呂宋艦隊あり我が對馬及千島とは一葦帶水の距離に過ぎず朝に發して夕に至るべし且つ對馬及千島の間其の潜水艦遊戈せば滿蒙の食料及原料の我が國に對する供給杜絶すべし若し吉會線完成せば南滿及北滿と朝鮮とが一大循環線となり長春洮南間、長春大齊洮南間は一小循環線となりて四通八達し我が軍旅及食糧運送の便益を得旁々北滿富源征服の確立ともなるなり而して北滿の富源は吉會線に依り海を越えて我が教賀及新潟に輸送せられ敵の潜水艇は我が朝鮮及日本海峽に侵入すること能はざれば戰時の交通經濟は我が國の自由獨立と爲る之れ所謂日本海を中心とする國策なり若し夫れ戰時の食料及原料にして充實せんか米國海軍が強大なりと雖も支那陸軍が多衆なりと雖も赤露軍兵が多衆なりと雖も必ず終に我を如何とも爲し難かるべく又朝鮮人が戰時に反抗するを制することを得べきなり我が國が毅然新大陸政策を實行せざるべからずとせば急速に吉會線を完成せざるべからず蓋し滿蒙は極東に於ける政治の不完全なる地域にして我が國が再び露國と北滿の平野に角逐せざるべからずとせば吉林は之が中心と爲るべく斯くて明治大帝の第三期遺策を實行する時機に至らば福岡、廣島の師團は朝鮮より南滿に進出して支那軍の北上を制し名古屋關西地方の師團は教賀より海路に依り清津に進み吉會線に依りて北滿に入り別に關東地方の師團は新潟より直に清津或は羅津に至り吉會線に依りて北滿地方に猛進し又北海道、仙臺各地の師團は青森及函館より浦鹽に急進し西比利亞鐵道を占領して北滿哈爾濱に

直進し夫れより南下して直に奉天に迫り蒙古地方を占領し且つ露軍の南下を阻止し斯くて關西軍及福岡廣島軍と三軍を合し之れを二大軍に分ち南は山海關を把守して支那軍の北上を扼し北は齊齊哈爾を把守して露軍の南下を扼せば滿蒙の食料及原料は我が國の自由となり之れを吉會線に依りて内地に輸送せば戦争十年に及ぶも我が國の食料及原料の不足を憂へざるなり
更に吉會線の完成に依る内地との距離左の如し

清津を起點として	至浦鹽	百三十哩
	至敦賀	四百七十五哩
	至門司	五百哩
	至長崎	六百五十哩
	至釜山	五百哩

北滿の資源を我が大阪の工業地に賣來するものとして敦賀と大連とを比較するに其の時間の差異左の如し

長春より羅津を經由して大阪に至る	陸路四百六哩	海路四百七十五哩
合計	五十一時間(大阪、長春間)	

長春より大連神戸を經由して大阪に至る

陸路五百三十五哩	海路八百七十哩
合計	九十二時間

即ち長春より大連神戸を經由して大阪に至るものは吉會線に依り敦賀を經由して大阪に達するものに比し四十一時間を多く要することとなり以て吉會線の軍事上及經濟上有する大價値を見るに足るべし而して以上の數字は鐵道速力を一時間三十哩として汽船の速力を一時間十二哩として計算したるものにして鐵道は急行列車に依り海上は快速力の汽船に依るものとせば其の所要時間を半減することを得べし
夫れ滿蒙は極東の白耳義なり歐洲大戰の際獨逸は白耳義を蹂躪して以て成功せり將來の日露戦争に於て我は滿蒙を蹂躪せざれば成功すること能はざるべし且つ我が國が新大陸政策を實行せんと欲せば滿蒙の中立的地位を破壊せざるを得ず故に又吉會、長大の二鐵道を整備して以て武裝的充實を圖り強大なる國防的勢力を増進せざるを得ざるなり進んでは吉會線の交通權に依りて短時間に千萬の移民を彼の地に送り以て水田を開拓して我が國の人口及食料の問題解決に資し旁々支那移民の侵入を防避し得べきなり吉會線は眞に我が日本の致富と武裝との鐵道たるなり

吉會線工事の天然利益と附帶利權

吉會線の工事は減水期に乘じ一氣呵成に之れを竣工するを要す且つ其の工費を節約する爲には其の山は花崗岩なるを以て新式鑿岩機を使用して速成せざるべからず其の四十分の一の均配の(註、均配とあるは誤植なるべし)隧道建設用の木材は沿線にあり砂利石材の如きも亦沿線に産し蛟河附近には石炭あり又煉瓦用粘土ありて各種の煉瓦を製して建設用に供し得る有様なれば吉會線完成の爲には我はセメント、軌條機關車、客貨車を輸送すれば足り其の他は該地方にて供給を受くることを得るものにして眞に天然の鐵道工事たるなり斯る四圍の事情に依り其の建設費は三割減の豫算を以て完成することを得べく工事期限も亦四割減の期間を以て竣工することを得べし更に其の沿線の利権に就て見れば吉會線完成により我が國に附随すべき權益として吉林、會寧間教化地方の木材は我が參謀本部及滿鐵の調査に依れば確かに二億萬噸の巨額に達し毎年百萬噸を伐採し吉會線は依りて我が國は輸入するものとして二百年間伐採を繼續するも盡さず此の雄大なる森林は我が國をして二百年間木材饑饉の厄を免れしめ米國産松材の輸入を驅逐すべし我が國は現時毎年米國材を輸入すること八千萬圓乃至一億二千萬圓に達す上述の吉林森林に對しては我が國が再三詳細なる調査を行ひあれども之を世界に公表するを避け居れり何となれば米國が我國に對し斯の如く巨額の木材を供給し居るものなれば我が國が吉會線を利用して吉林、間島間の一大森林寶庫を開伐することを知りたる赤露或は支那は必ず米國を煽動して我が國の吉會線敷設に干渉せしむべく亦米國木材商は巨費を投じて奉天政府を買収し豫め吉林の森

林伐採權を獲得し以て米國木材の對日本輸出を保護し東亞木材界の權能を制することとなり嘗に我が國の製紙界の死命を制するのみに止らざるべければなり

吉林の森林は前清乾隆全盛時代之れを樹海と稱せるが今日に至るまで數百年間未だ曾て斧鉞を入れず以て其の大を知るべきなり此の木材を長春より大連を経て大阪に輸入するものとして其の距離遠く一千三十五哩、千三百八十五哩とありしにして吉林より大阪迄の運賃一立方尺三十四錢を要し運賃の高價なると産額の少量なるとに因り米國木材と競争すること能はざるなり然るに吉會線完成の曉に於ては其の距離大阪迄七百餘哩に過ぎず一立方尺に對し運賃十三錢を要するのみなれば米國木材を驅逐すること疑なし且つ吉林の森林が最少限二億萬噸と計算し毎噸五圓の利益を擧ぐるものとして吉會線の完成に依り我が國は勞せずして十億萬圓の森林利権を獲得し尙米國材の輸入を防止し得べきなり而して我が國民は安價にして良質なる木材を得之れに加工して器具と爲し工藝品と爲し又は製紙の用に供せば少くとも毎年二千萬圓の利益を増收し得るものなり

尙別に新邱の大炭鑛ありて其の埋藏量十四億噸にして其の炭質は撫順炭を凌駕す其の土質は多く硬石質より成れば採掘容易なり又其の炭質は焦炭製造用に適すれば我が國は之を以て重油を抽出し肥料を製し化學的藥品を製し我が國の需用に供し支那全國に販路を擴張し得べし即ち吉會線の實現に依りて此の新邱大炭鑛は勞せずして我が國の利権となり撫順炭鑛と相應呼するに足るものにして此の大炭鑛

の勢力に依りて全支那の工業を征服すること決して難事に非ざるなり單に新邱炭礦のみを以て論ずるも吉會線に依り日本が此の良炭を獲得せば毎噸少くとも五圓の利益あり且つ新邱炭は發炭製造用に適するものなれば若し之れに化學工業の操作を加へ其の副産物を抽收せば毎噸少くとも十六圓の利益あり一噸平均十五圓の利益あるものとして合計二百億萬圓の利權を獲得することとなる之れ吉會線に附帯の利權に外ならざるなり此の外牡丹江流域の大金礦及附近の森林亦吉會線の開通に依りて之を開拓し得るなり

又敦化地方の工業としては大小麥、粟、高粱等は毎年二百餘萬斤を産し酒釀場大小二十餘箇所あり此等は皆吉會線の利便を受くるものにして我が商品の北滿に對する進出も亦吉會線の完成に依りて急速に實現し得るなり又此の地方には製油業三十餘家あり毎年豆油九十萬斤豆粕六十枚萬を産す單に此種の運賃収入のみを以てしても吉會線の經費を償ひて尙二十餘萬圓の純益あり之れに木材、新邱炭及副産物を加算するときは吉會線の収入は毎年少くとも八百萬圓以上に達すべく此の外無形の利益としては滿蒙を培養し森林權礦山權及商業權を取得し又滿蒙に大移民を爲すことを得べく且つ我が日本と北滿大富源との距離を短縮し清津より會寧に至る三時間、會寧より上三峯に至る三時間、豆滿江岸より龍井村に至る三時間にして曩に日本を發して夕に間島を中心に達すべく約六十餘時間にして北滿の富源を突破し得るは是れ吉會線の機能なり

琿春、海林間鐵道

延長七十三哩建設費二千四百萬圓を要す沿線左右は皆密林にして吉會線の勢力を培養し北滿の樹海及農礦開發の爲には此の線も亦必要の一なり且つ浦鹽港の繁榮を我が朝鮮の會寧に奪はんとせば本線を至急敷設して浦鹽に對抗せざるべからず就中最も將來の利害を卜すべきものは海林以南敦化以北に在る鏡泊湖なり吉會及琿春の完成後此の湖水を利用して水力電氣を起し以て滿蒙全土の農工動力を制御し支那の活動をして我が電氣工業を如何ともする能はざらしむべきなり滿鐵の調査に依れば該湖水の落差は少くとも八十萬馬力の電力を發生せしめ得べく此の強大なる電力を以てすれば滿蒙の工業を征服して尙餘裕あるべく發電所附近は必ず大發展を爲すべく北滿の大富源を開拓せんと欲せば極力之を實現する要あり又琿春、海林間鐵道を敷設して吉會鐵道の培養線と爲すにあらざれば其の資源を輸送するに足らざるなり尙露支共有の興凱湖も亦大電力を起すことを得るものなるが只露支兩國が之を合辨して我を制する恐あり依つて我が國は本年東京に於て開かるべき國際工業電氣大會に於て露支兩國の覺知せざるに乘じ同一電氣供給地域内に二個の發電所を設立することを禁止する議題を提出して實際間の承認を求め以て露支兩國が興凱湖の電力を合辨して我が電力を制することあるべきを阻止する必要あり尙五子製紙公司是古塔及海林驛附近に於て森林、伐採權を有し居れるものなるが鏡泊湖水

電及琿春海林間鐵道を速成せば製紙會社の大成功を保つ所以となり我が國に製紙原料を供給し又以て紙を調節して支那全國を征服し得べきなり且つ奉天政府の計畫せる吉林五常間鐵道吉林奉天間鐵道は北滿の資源を招来せんとするに外ならざるものなるが若し葫蘆島或は天津を以て之が海港となすものとせば我は琿春海林間鐵道を吉會鐵道の培養線と爲し右支那の計畫を打破して北滿の資源を我が朝鮮の清津港に招致することを得べし我が琿春海林間鐵道及吉會鐵道に依り北滿物産を運搬するときは其の運賃支那鐵道に比し三分二を輕減し西北利亞鐵道に比し其の三分の一を輕減することとなり支那及赤露の鐵道は皆が之と競争すること能はず其の戦勝の榮冠の我に屬すべきこと拭目して待つべきなり

對滿蒙貿易主義

滿蒙貿易額は毎年七八億萬圓の多額に達す是皆我が國の掌握する所たり而して我が國が取得する羊毛棉花、豆、豆粕、我等の資源額は世界貿易の第二十位を占む此等資源は今後日に増進すべきは疑なし然るに我が對滿蒙貿易の盛況此の如くなるに何故に大連浪速町の家屋は支那人の所有に歸しつゝありや且つ滿洲工業の基本たる製油業の如き管口三十八戸の内我國人のもの一戸もなく安東二十戸の内我國人のもの一戸あるのみ大連八十二、三戸の内我國人のもの七戸に過ぎず其の比例は僅に、〇六に過ぎず大多數は皆支那人の手に占めらる我が滿蒙進出上頗る悲しむべき現象なり今其の利權を挽回せんと欲

せば交通勢力を利用して之が堡壘と爲し然る後成品販賣の貿易權、原料買入の購買權を以て之を擁護し以て大利權を我が手中に收めざるべからず別に金融機關に依りて我が國人の製油業者を助成し以て支那製油工業を退縮せしむべきなり貿易關係に於ては支那人が多數我が大阪川口町に居住し大阪製品を購入し之れを滿蒙に賣り廣め我が在滿商人と大商戦を開き居れるが我が國人の生活費の高き往々厚利を得るにあらざれば生活すること能はず從て其の販賣に於て支那商人の爲に大敗を喫し居れり奉天方面の支那商人は多く大阪に於て粗悪品を高價にて買入れ且つ之れが運送も拙劣なれば之れを大口にて我が國人より仕入るるに比し約一割高となり其の鐵道及汽船運賃は邦人に比し二圓七十錢高となるにも拘らず滿蒙に於て安價を以て我が商人に打撃を加ふるなり我が國商人の無能を證するに足る尙支那政府は貿易商に對し保護を爲すことを知らざるに反し我が國は滿蒙の商人に對し極力保護を加へ低利長期の資金を融通するに拘らず我が商人は尙七顛八倒す是れ亦滿蒙貿易上最も慨嘆に耐へざる所なり今後は共同仕入法を極力擴張し各汽船會社及滿鐵會社をして特別に運賃を大割引せしめ關東廳及滿鐵をして低利資金を融通せしめ以て支那商人に戦勝し我が貿易權を恢復し進んで滿蒙特産品の販路を世界に擴張せんとす蓋し滿蒙特産品販賣權を把握することは即ち滿蒙の財政及貿易を監理する第一階梯にして名實共に之れを得んとせば滿蒙特産品の專賣權を先取し以て我が新大陸政策完成の資と爲し亦金弗國たる米國資本の滿蒙に侵入する機會を阻止し支那商人の活動に對しても特産品專賣の勢力を

以て之を防止すべきなり

○大連を中心として大汽船會社を建立し

東亞海運交通を握把すること

滿蒙特産物の吞吐港に大連、安東、營口ありと雖も其の中心は大連港より他になし其の毎年の出入船舶は七千二百隻、一千一百六萬五千屯に達し滿蒙貿易の七割を占む又定期航路十五線を有す多く近海航路なり滿蒙海陸の交通は已に我が手に掌握せられありと雖も特産物の專賣權は未だ必ずしも我が手中に歸せりと云ふべからず此の際我が國は海陸交通の便を以て特産物の購入及販賣の擴充を爲し更に海運業の發達に努力し以て安東及營口の勢力伸張を謀るべく斯くて大豆の需用巨多なる中部支那及南支那に對して我が國が一手に其の供給を爲し世界に於ける油食民族たる支那人に對し一旦有事の際豆油及豆類の供給を禁止せば支那全國民の生活に脅威を與へ得べきなり殊に豆粕は水田肥料として日支兩國の食料農業上重要なものなり豆粕の購入、販賣及輸送の實權を我が手中に收むれば我が國は安價なる豆粕を以て我國の肥料不足を救ひ更に之に加ふるに撫順及新邱の石炭より抽出せる肥料を以てすれば支那全國の農業を征服し得べく若し有事の秋に於て豆粕及び石炭より抽出せる肥料の支那に對する輸送を禁止せば支那の食料及原料は必ず恐慌動搖を來すべく是れ新大陸の樹立上缺くべから

ざる手段たるなり尙歐米に於ける豆粕の消費亦巨量なれば我が專賣權と海陸の運輸權を以て之を擴張せば世界各國にして滿蒙特産物の供給を受けんと欲せば必ず我が鼻息を窺はざるべからざるに至るべし是れ滿蒙貿易統御の企として實行せざるを得ざるものなり蓋し滿蒙貿易を一手に掌握せんとせば整備せる海陸交通權を有すこと必須にして斯くて支那商を制肘し得べし殊に支那人は我が國人の背後に従ひ競争を爲すものなるが人の支那帆船貿易及油房業の如きは我が國人が之を打破するの力なく頗る遺憾と爲す所なれば今後我が水陸交通整備せば大資本を以て支那の帆船貿易を打破し一面我國人が支那人に追従して帆船貿易及油房を設立することを獎勵し以て我力の及ばざるを補はざるべからず加之我が國の滿鐵開發は從來滿蒙に工場を建設し滿蒙の原料を利用して之に加工し來りたるが之れが爲に支那人が我が工場の内容及我が新式加工法を探知し終に到る處に獨立して我工場と同様の工場を設立して我國と競争するに至るなり是れ我が在滿企業家が秘密を嚴守して之を豫防せざるの處にして今後滿蒙の原料を利用して之に加工せんとするものは悉く之れを直接本國に輸送し精製し然る後之を支那及各國に輸出することとし一には我國内の失業者を救ひ二には支那人が洪水の如く滿蒙に流入することを杜絶し三には支那人をして我が新式技術を學ぶこと能はざらしむべきなり而して本溪湖及鞍山の鐵礦及撫順炭等も亦本國に輸送して加工すべきものなり斯の如き事情に於て海運の擴張は益々大に必要となる依て茲に大連汽船會社を擴張し政府が滿蒙を通じて低利資金を供給し明年中に五萬噸の新造船

を建造して遠洋航海の用に充て以て東亞交通の大動脈を把握せんとす況んや陸路には滿鐵線ありて我が政治範圍の滿蒙に於ける巨額の特産物を輸送し得るものなれば經濟上の鐵則より見て大連海運の擴張は必ず大成功を期し得べきなり

金本位制度の實行

滿蒙は我が國の勢力範圍なりと雖も其の法貨は皆銀を以て本位と爲し我が國の金本位制度と利害往々相反することあり我が國民が滿蒙に於て極度の發展を爲し能はざるものは金本位制度に累せらるるに依りてなり支那政府が圓銀本位制度を固執するが爲に金本位たる我が國が左記の不利益を蒙るものにして之れ我が殖民地經濟の基礎を確立すること能はず新大陸の完成を期すること能はざる所以なり

一、我が滿蒙在住者が資金投下の場合には本國の金本位金票を持參し生活用或は工場建築、材料の購入又は貨銀の支拂等には總て支那大洋票に兩替して之れを使用するものなるを以て銀高のとき投下したる資本は銀安の場合には損失を招くことゝなる金十圓の元本が五日を出てずして八圓となること常なり之れ投機的事業にあらざれば賭博的營利機關たるのみ又十萬圓を滿蒙に投資する者が事業擴張の爲に銀行より十萬圓を借入れ合計二十萬圓の資本を以て事業に着手し其の基礎將に成らんとする際銀價下落して二十萬圓の資本は忽ち十五六萬圓の價值あるに過ぎざるに至らば銀行は恐れを爲し

て貨金の取立を行ひ事業は即ち銀下落の爲に中途失敗に終ることゝなる如き皆然り

二、支那商人の計算は銀建なれば銀價騰落の影響を受くることなし故に帆船貿易は頗る發展す而して支那人には金銀計算に専門的智識なしと雖も戦つて勝たざるなし是れ支那人獨特の天才にして我が商人は益々銀本位の苦痛を受くることとなる水陸交通の實權を掌握し金融業者の後援を有する我が商人にして且つ銀本位關係に累せられざるなし故に中部及南部支那需用の豆及豆粕は皆支那帆船貿易之を操縦し我が國人は一步も其の國內に入ることと許されず従つて支那全國を征服すること能はざるなり

三、大洋銀建計算の事業となさば支那政府は紙幣を濫發して反つて我が國金紙幣の進展を阻止することとなり我が在滿銀行は國家の爲に其使命を盡すこと能はざることゝなる

四、滿蒙に於て金本位實施を完成せば我が金紙幣は自由に流通力を擴張し我が金紙幣の信用に依りて廣く各地の特産物を買入ることゝならば支那紙幣の信用失墜し自然我れと經濟競争を爲すの力無きに至るべく斯くて全滿蒙金融の實權は自ら求めずして我が國の手に歸することゝなるべし

五、東三省官銀號、交通銀行、殖邊銀行、廣信公司等が発行する銀紙幣は合計三千八百萬圓の巨額に達す其の準備金は總て家屋什業等にして其の評價額百三十五萬圓に過ぎず支那紙幣の信用なきこと明なる所なるが奉天政府が強制的に金融市面を維持するが故に今日尙之が流通を見るなり蓋し支那

銀行紙幣の信用を打破するにあらざれば我國金紙幣の滿蒙に於ける發展は永久に不可能なるべく滿蒙金融の壟斷更に遠遠なるべし而して東三省政府は其の政治勢力を以て益々無價値の不換紙幣を増發し滿蒙各地の特産の買占を行ひ大豆、豆粕、小麥、粟等は悉く東三省政府の買占ひる所なり我が國既得の利益を脅威せざるなし且つ東三省政府は不換紙幣を以て特産物の買占を爲し之れを賣却の際我が國の金紙幣を取得し密かに我が滿蒙に於ける金融を擾亂し甚しきは我が滿蒙に於ける特産物取引の實權を破壊せんとす斯くして我が國金紙幣益々發展の日なく滿蒙に於ける金本位實行の期なきに至るべきなり

以上種々の關係よりして必ず不換紙幣の假面を剥ぎ政府をして滿蒙特産物買占めを爲すの實力無きに至らしむれば其の實權は當然我が國に歸屬すべく我が國は此の機に乗じて金本位を擴張し以て滿蒙の經濟及財政を壟斷し進んては東三省當局に迫りて我が國より財政顧問を傭聘せしめ以て其の金融財政を操縦し奉票の確實なる實力を打破し之れに代ふるに我が金紙幣を以て本位貨幣と爲すべきなり

第三國の滿蒙に對す投資を歓迎すること

我が滿蒙の地盤に對し第三國の投資を許さざるは歴代内閣の政策にして當時は機會均等主義に基き華盛頓九ヶ國條約の如きもの無かりしを以て曾て國際財團成立の際に於ても我が滿蒙は除外せられたり

然れども此の政策は右九ヶ國條約に抵觸する嫌あり從つて益々國際間に猜疑を招く恐れあるを以て我が滿蒙に勇進するに對し世界の猜疑を招くよりも機會均等の問題を藉りて大資本を求め以て民生的事業を振興するに如かず水電動力の如き或は曹達工業の如きは外國の投資を歓迎し歐米の雄大なる資本を藉つて我が滿蒙發展の培養と爲すべく又一面之れに依りて國際間の疑惑を除去し我が國は憚る處なく新大陸形成の一路に直進し得べく亦國際間に滿蒙は我が國の特殊地域なる事實を承認せしむる素因となるべきなり

今後何國を論ぜず支那に投資せんとするものに對しては我が國は必ず進んで之を歓迎するを要すべし只切に警むべきは支那政府と債權國との自動行動に放任することなり右は滿蒙地帯に於ける政治經濟の實力が我が手中にあることを國際間に公認せしめんとする手段なれば我國は之に對して干渉し其の責任を分擔せざるを得ざるなり之れ亦外交上の慣例として頗る重要な政策たるなり

○滿鐵會社經營方針變更の必要

滿鐵は往時の朝鮮統監府と其の性質を同じくするものなれば我が國の新大陸形成の爲には滿鐵の經營方針を變更して以て今日の難局を突破する必要あり滿鐵の使命の多且大なるを以て歴代内閣の政治的變動と共に其の進退を同じくし内閣の交代は往々滿蒙に其の禍を及ぼし又滿鐵の一舉一動が内閣に累

を及ぼすことあり之れ滿鐵は半官半民の組織なりと雖も其の實権は内閣に在るを以てなり故に我が國が滿蒙に進展せんとする毎に國際間に於ては滿鐵を以て一營利會社と認めず純然たる政治機關と見做す華盛頓九ヶ國條約を以て我が滿鐵の振興を制せんと欲する所以又茲に在り頗る我が帝國進展の利益を損せり

更に内部關係に於ては滿鐵の滿蒙に於ける事業遂行上關東軍司令官、大連長官(關東長官?)、總領事ありて四頭政治を行ひ大連に於て其の意見交換を爲すものなるが往々東三省執政者が其の機密を探知し滿鐵の進展を極力防止することあり又問題を東京に於て最終的に解決を爲さんとするに際しては外務、鐵道、大藏、陸軍等各大臣の意見の相違によりその計畫の進展阻害せらるること間々あり故に現内閣首相にして責務重大なる外務大臣を兼攝することは其の任に勝へざるところなりと雖も滿蒙進出の爲には之を兼攝して以て其の政策の秘密と圓滑とを保ち滿蒙政策の速成を期せざるを得ざるなり因て此種々なる不便を免れんが爲に滿鐵の根本改革を行ひ滿鐵の附帶事業中其の能力と利益との大なる事業は之を分離して獨立會社と爲し暗に滿鐵の勢力を背影として滿蒙に急進せしめ一面滿蒙の全般に亘りて支那人及歐米人の投資を招致して純然たる鐵道事務を行ひ而して我が國は其の資本の半數以上を獨占し以て其の實権を把握して帝國の使命に猛進せんとす即ち滿蒙に對する國際資本家の投資を誘引して以て世界の耳目を欺瞞しつつ我は任意に滿蒙に進出し以て九ヶ國條約が有する對我國の制御力

を緩和し且つ外資を利用して我が國の滿蒙進展の助成に利用せんとするものなり

滿鐵會社の掌握する重要なる附帶事業は左の如し

(1) 鋼鐵問題

製鋼事業の盛衰が國家の強弱に關係すること頗る大なり現に各國は此を以て重要問題と爲さざるなし我が國の鋼鐵問題未解決の所以は原鐵に乏しきが爲にして從來揚子江流域及南洋馬來半島より其の原鐵を輸入しつつありしものなるが豈に料らんや滿蒙地方に散在の鐵礦は參謀本部の實地秘密調査に依れば其の數量非常の巨額に達し其の推定量少くとも十二億萬噸あり而して滿鐵經營の鞍山製鐵所は初め技術未熟練の爲に毎年損失三百萬圓見當なりしが其の後獨逸技師を招備し研究せしめたる結果新技術と製網費節約の方法とを發見したるに依り昭和元年度は僅かに損失十五萬圓に止まり昭和二年度は少くとも八十萬圓の利益あるべく若し新式の製網爐に改良せば毎年少くとも四百萬圓左右の利益を舉げ得べきなり尙本溪湖鐵礦は其の成分頗る佳良なるを以て若し機會あらば之を滿鐵の鞍山と合併せしめ以て我が國自給自足の計を爲すべきなり

滿蒙の鐵礦は十二億萬噸あり幸に二十五億萬噸の石炭あり(撫順、本溪湖、新邱の大炭礦及勢力範圍内の炭礦の總量なり)此の二十五億萬噸の石炭を以て十二億萬噸の鋼鐵を精練し得べく我が國が此の如き大量の鐵及石炭を取得し得ば七十年間の鋼鐵は自給自足となり他國の鼻息を仰ぐの要なきことと

なる尙又鋼鐵一噸より大略少くとも百圓の利益あり三億五千萬噸の鋼鐵生産に依り三百五十億萬圓の利益を得ることとなり國家經濟上豈に大ならずとせんや且つ我が國が毎年一億二千萬噸の鋼鐵輸入を防止し産業立國の第一歩たり得べく我が國の勢力範圍内産出の鋼鐵により自給自足を爲し得ることは即ち我が國が世界第一國たるの要素を具備せるものとなる鋼鐵問題は滿蒙生産の鐵鑛を統一し支那をして我が國の鋼鐵自給自足を阻害せしめざるに在り

(2) 石油問題

石油は我が國の最も缺乏せる重要品の一にして又立國の爲め必須の要素なり幸にして撫順炭鑛の油頁岩は總量五十二億噸あり百斤の油頁岩より六斤の油分を抽出し得るものなるが之れに米國の精製機を用ふれば百斤に付き九斤の精油抽出し得べく以て自動車及艦船の燃料に供し得べきなり現今我が國が毎年外國より輸入する精油は約七十萬噸にして其價額六千萬圓に達し尙年々増加の趨勢に在り撫順油頁岩五十億噸より最少5%の油分を抽出し得るものとせば二億五千萬噸の重油を得ることとなり9%を抽出するものとせば四億五千萬噸の重油を得之を平均すれば三億五千萬噸の重油を得毎噸利益十五圓と見積り五十二億五千萬圓の利益あり之れ我が工業界の大革命にして國防上産業上其の關係極めて重大なるものと云ふべし滿蒙の鐵及重油が我が手中に歸したる上は我が國の海陸軍は一步にして金城鐵壁となるものにして滿蒙は我が日本心臟なりと云ふは虚言にあらざるなり綿々たる皇基の爲に眞

に慶賀の至りなり

(3) 硫安肥料其他の問題

肥料は國家食料政策上最も重要なる大問題にして化學肥料は總て石炭より抽出したる硫安を原料と爲す而して撫順炭は硫安抽出に最も適合す我が國毎年の硫安消費高は五十萬噸なるが我が國內の工場に於て開採炭或は撫順炭を原料として生産するもの二十五萬噸にして其の不足額二十五萬噸は皆外國より之を輸入するものなれば毎年三千五百萬餘圓の金貨流出するなり我が國の農産日一日と振興し尙我が國の資本と手腕とを待つ滿蒙新大陸の耕地あり今後十年以内に我が國消費の硫安は必ずや少くとも一百万噸以上に達すべし況んや滿蒙の鐵鑛を我が國の手中にて精練せんとするには必ず撫順炭を以て之が燃料と爲すものなれば其の排出する煤煙を以て硫安を抽取せば一舉數得の事業たるなり、一年三十萬噸の硫安を生産するものとせば之れに依りて四千餘萬圓の利益あり之れを五十年に見積れば二十億萬圓の利得となり且つ我が國農業の發達を助成するものなるのみならず尙豆粕の販路に依り全支那及南洋を征服し得る利益あり故に本事業は獨立經營を爲し滿鐵と分離し以て東亞の肥料界を操縦し易からしむるを要す

(4) 曹達及曹達灰事業

我が國毎年の曹達輸入數量は十萬噸に及び其の價額一千萬圓以上に達す曹達及曹達灰は軍事上化學工

業上の重寶にして其の原料は食鹽及石炭に限らるるものなるが鹽及石炭は滿蒙の多量にして安價なる産物なるを以て我に於て工場を設立して之が製造を爲さんか外國品の輸入を防止するのみならず其の過剰を以て支那に販路を擴張し以て此の工業要品の壟斷を期し得べきなり本事業は毎年最少限一千五百萬圓の利益を擧げ得べく五十年に見積り七億五千萬圓の利得となり且つ我が軍用化學工業原料の自給自足を來すべし本事業も亦滿鐵より分離し獨立經營を爲すべきなり

(5) マグネサイド及アルミニウム事業

マグネサイド及アルミニウム事業は滿鐵及東北大學本多博士の調査に依り非常なる有望の事業たることを發見せられたるものにしてマグネサイドは大石橋附近に出てアルミニウムは煙台附近に産す其の埋藏量は世界有数のものにしてマグネサイド一噸の價額二千餘圓、アルミニウム一噸一千八百餘圓として滿蒙に埋藏さるるものは概算七億五千萬圓の價值あるものなり此の二礦物は飛行機、軍用飯盒、醫療器、其他工業上最も重要な原料品たり世界に於ては僅かに米國に多少の産出あるのみ我が國は年に僅々一噸餘を産出するに過ぎず而も世界の此の種輕金屬に對する需用は日に多く供給不足の爲其の價格は日に騰昂して底止する所を知らず我が滿蒙地内に多額に此種礦物の産出するは我が日本に幸するものに外ならず此の珍貴なる産物は國防上工業に缺くべからざる原料なれば此の事業を滿鐵より分離して獨立經營となし尙其の厚料鑛石は之れを日本内地に回送して精製し以て奉天政府の注目を避け

旁々此の貴重物を密藏して以て英米資本家の虎視眈々より免れ得ることとすべし尙又我が國と東三省政府との交渉に依り其の實權を得るを待つて鴨綠江流域に水電事業を設立し此の種輕金屬類精煉の用に利用することとせば將來飛行機の發達に鑑み世界に於ける飛行機材料の需用は必ず我が國の鼻息を仰ぐべきこと疑なきところなり

以上の各事業を獨立經營と爲し以て勇往直進せば我が國は概算六百億萬圓の巨利を獲得し得べく又南滿の産業が我が國防及經濟の助成に與ること實に莫大なるものとなる南滿の産業が我が國に貢獻すること此の如し我が國亦之れに依りて産業立國の根本を培養し得べきなり右の事業以外病院、學校或は慈善團體等の文化施設は我が國滿蒙進出の陣營にして又我が國威顯揚の機關たり更に換言すれば利權取得の好餌たるなり故に之れ亦滿鐵より分離獨立せしめ更に陣容を整へて北滿地方に勇進し以て北滿の大富源を謀取すべきなり

右重要なる有形事業を獨立せしめ單獨行動に便宜ならしめ又關係各監督官廳の干涉より免れしむれば此等は終には必ず帝國の利益の一途に合流し且つ營利會社として突進せば國際外交上の疑惑を免れ又東三省民の排日を緩和し得べく新大陸形成の爲に此の公然たる秘密の手段を以てすれば身軽く活動の充分なるを覺ゆるなり

滿鐵會社に外國資本を募入することは現存の鐵道を以て限りとし其他變態的經營の鐵道又は借款鐵道

の如きは現在の鐵道に合併するも可なり或は獨立經營となすも可なり其の時期に至りて投資國の希望に依り之れを定むべく我が國は單に滿鐵會社を仲介として利益を占することを目標とするものにして他國の投資を歓迎する所以は債務者の變態行動たる我國の北滿進出に對する國際間の疑惑を回避せんとするものに外ならず外債を募集して我が新大陸形成を助成せんとする所以は滿鐵會社を國際利益の爲に開放せば歐米資本家は喜んで之れに投資すべく支那政府は其の國際的投資の機會を破壊する能はざるべきを以てなり即ち滿鐵會社の組織を變更して國際投資を歓迎することは我が國の滿蒙進出の最善手段なれば急速に實行せざるべからざるなり只滿蒙の富源は皆北滿及蒙古に集中するものなれば我が新に獲得する吉會長大の二鐵道及吉林の森林鑛山等の利権は別途の機關を設立して活動せしむること必要なり蓋し北滿の進出は滿鐵會社の利益を培養する所以なれば若し滿鐵を開放して國際投資を歓迎せば我が國の北滿進出により受けたる滿鐵の巨額の利益は即ち國際的の利益従つて又世界の利益となるものなれば國際間に我が國の北滿突進に對し敢て干渉するもの無きに至るべきなり南滿地方の支那移民日に多く其の爲に支那の財政及國防は日に固く且つ商租權未だ確定せざるにより我が國の移民を容るる餘地なく外交の力に依り我が移民を移植し得るとするも我が國民の生活程度甚だ高きを以て山東移民と競争すること能はず依つて今後の南滿進出は一に資本主義を以て前鋒と爲して以て支那を壓倒せざるべからざるが爲には益々外國資本の利用必要にして斯くて我が新大陸の發展を期し得べ

きなり殊に北滿地方は滿蒙の寶庫たるに支那移民は未だ此の地帯に及ぶこと能はず此の機に乗じ我が國は突進して移民を奨励し其の利権を急取し以て支那國民の機先を制すべきなり我が國が滿蒙新大陸を樹立する爲には必ず強大の移民を彼の地に送り之に加ふるに敏捷なる交通を開かざるべからざる其の富源を開拓獲得し勞々我が國民をして後顧の憂なからしむるを得るなり殊に赤露及支那の軍備は日進の勢に在り地理的關係上我が國と其の利害悉く相抵觸す我が國が北滿の大富源を擷取して我が國の繁榮に資し進んでは新大陸を樹立して明治大帝の遺策を完成せん爲には須く先づ北滿に移民し以て露支の親密連絡を斷絶し其の富源を擷取すると同時に赤露が虎視眈々支那を強制して我が國を壓迫せんことを制すべきなり又若し一旦有事の際は我が北滿移民をして一直線に南滿に迫らしめ南滿の軍兵及移民と相ひ呼應して滿蒙の大業を定めしむべく萬一滿蒙の堅守を要する場合は我が北滿の移民をして其の資源を擷取せしめ以て我が滿蒙軍及内地の食料及原料の用に供すべきなり北滿地方と我が國との利害關係は此の如し我が國今後の對滿政策は唯一途北滿に向つて直進し以て既定の積極政策に努力するあるのみ而して南滿地方に於て資本主義を用ゆれば外資を籍つて以て我が國の進出を助くると同時に我が國が北滿に向つて猛進することに對する各國の疑惑を緩和し得べきなり法の妙、策の優なる滿鐵の組織を變更し外國資本の投下を歓迎するに勝るもの莫し

○拓殖省設立の必要

我が對南滿經營は多岐多様なるにより往々主管官廳の意見一致を缺き異論百出することあり國家有益の事項も迅速に進捗すること能はず我が對滿蒙の秘密が奉天政府に拾得せられ國際的宣傳材料に使用せられ我が國中傷の用に供せらるることとなり頗る我が帝國の爲に大不利益を醸す凡そ滿蒙に於て實施せんとする事項は必ず大連に於て數十回の調査及會議を經四頭政治主腦者の同意を得て之れを實行することとなり更に内閣の決議を經て有効に成立するものなり此の如き種々なる難關あるに依り一事を實施するに往々年餘を要することあり且つ天奉政府に買収せられ我が國の對滿蒙施政を探偵することとを目的とする我が國の浪人頗る多く爲めに一事件實施詮議中其の實行以前に支那の探知するところとなり従つて之が世界の耳目に入り忽ち各國の輿論が我が國を制肘することとなり我が國の對滿蒙施政上其の苦を嘗めたること再三にして止まらず又反對黨が常に滿蒙方面に於て探查したる事項を中央に持出して以て反對の材料となすことあり此の如き行動は外交上最も不利益の事象たり殊に今後我が國の對滿蒙策は必ず其の主義を變更し以て勇往邁進せんとするものなれば其の施政の中心を東京に集中する必要あり斯くて第一に其の秘密の嚴守に責し第二に支那政府の探索を防止し第三に事前に於て各國の疑惑を招くことを避け第四に滿蒙四頭政治の弊を統一し第五に内閣と滿蒙との關係を一途に緊

密ならしめ以て全力を盡して支那に當るべきなり此の如き種々なる利害に鑑み伊藤及桂が朝鮮を合併したる主旨に倣ひ拓殖省を設立して滿蒙進出を專任管轄せしめ特に臺灣、朝鮮、樺太等の殖民地を管掌せしむることを標識とし其の實務は滿蒙進出を目的とし以て世界の耳目を覆ひ且つ國內不統一の暴露を防がんとす

思ふに朝鮮合併が伊藤統監の時代に之を實行すること能はざりし所以は統一的官廳なく萬事意見多岐に亘り秘密の嚴守不可能となり國內の不統一が原因となりて國際間に於て我が國に對する干渉を招來したるに因るものなるが其の後伊藤及桂が多數の宣傳員を歐米及朝鮮に派遣し我が國が朝鮮の獨立を確保しす土の野心なきことを宣明し漸く國際間の猜疑を釋き得斯くて拓殖局を特設して臺灣に關する事務を管掌せしむることを口實として密かに其の機會を獲得し一氣に合併を成就したるものなり之れに依りて見るも殖民及移民の經營は今日の情勢上專管の官廳を設けざれば不可なるなり且つ滿蒙新大陸の成就是日本の立國上至重至大の問題なれば拓殖省を設立して右事務を管掌せしめ滿蒙政治の中心を東京に集中し在滿蒙の我が官憲をして只命に依り活動する外隨地に施設計畫に干渉すること能はざらしめば自然其の秘密嚴守せられ相手國が東京に於て我が拓殖内容の秘密を探知すること能はざるに至るべきなり斯くて我が國の滿蒙に於ける一舉一動に對し國際輿論が我が國を制する材料なきに至るべきなり

滿鐵會社より分離獨立したる各事業會社の勸業會社、土地會社、信託會社等の營利會社の監督及施設に關する權限は亦拓殖省に歸屬せしめて之を統一し帝國の滿蒙進出根本策を助成し新大陸の完成に達せんとす

○京奉線沿線の大凌河流域

大凌河流域は浮遊地頗る廣く亦馬賊の藪淵たり我が朝鮮民の此の地方に投資し水田開墾を爲せるもの頗る多く此の地方の廣大なる案するに將來必ず繁榮すべき地なり且つ我が國が熱河地方に進入せんとせば此の大凌河流域を立脚地と爲すを便利とす將來此の地方に於ける朝鮮人の移住に對しては我が國は極力之を保護するを要し機會を見て支那政府に其の開拓權を交渉して我が移民を容るる權利を獲得し熱河及蒙古に進入の手段と爲すべし斯くて萬一有事の秋我は大凌河を地盤として大軍を駐屯せしめ支那軍の北上を防止し得べく曾に南滿の鎖鑰なるのみならず亦一大利源地帯たるなり朝鮮人が大凌河流域に進出せんとする際は我が國は信託會社或は金融組合を利用して以て極力其資金の融通を謀り其の土地の所有權は信託會社又は金融組合の手に留保し在住鮮人は單に耕作を擔任せしむるに止むべきなり只表面上は鮮人を土地の所有者と爲し置くは對支那政府の關係上土地所有權取得の便宜の爲なり今後我が内地人移民又は鮮人移民が滿蒙に於て土地を取得する際は皆信託會社又は金融組合或は銀行

をして彼等の後援たらしめ支那人より土地權利買收の際其の資金も亦此等の金融機關をして融通せしめ不知不識の間に我は其の佳良の水田を經濟的手段を以て我が内地移民の手に歸せしめ鮮民を驅りて更に原始原野の開拓を爲さしむることとして我が國移民の利便を謀るべく是れ即ち水田及大豆類開拓の積極政策なりとす牧畜政策に對しては一方勸業會社を以て専門の特別機關たらしめ漸次其の畜産を吸収して我が國自足の用に供すべく他方軍馬の放牧及播種の如きは勸業會社又は別に別動隊を設け内外蒙古に進出して大に播種を行ひ以て我が國防用馬匹の完備に充當すべきなり

○支那移民侵入の防禦

近來支那内亂の爲に支那人が萬馬奔騰の勢を以て滿蒙に流入し我が移民の進展を危ふくする状態にあれば我が滿蒙進出の爲には之れを防止せざるべからず加之支那政府は此の移民流入を大に歡迎するに因り之れが防止の手段を講ずるにあらざれば之が爲に我が國の對滿蒙政策は益々其の脅威を受くべし采國の有名なる支那學者ライオンシュ氏曰はく奉天政府は仁政を布くを以て四海其子を負ふて之に従ふ孟子の移民政策に云ふ、王が政を發して仁を施せば天下に王の土を耕すことを欲せざるなく王の市に同ふことを欲せざるなく王の官に仕ふることを欲せざるなし、とあり云々と、是に於て國際國は支那移民歴史に照し大多數の移民が奉天に流入するを以て奉天政府の仁徳の證左と爲すべく最も之と利害を

有する我が國に於て支那移民の驅逐を爲すにあらざれば十年を出でずして我が滿蒙移民政策は反つて支那の爲めに驅逐せらるるに至るべし故に出來得る限り我が警察力を利用して支那移民を制禦し資本家は一面貨銀の引下を以て之れを驅逐し一面電動力及水電力を擴張して以て勞働力に代へ斯くて支那民の侵入を防止すると同時に動力の勢力を掌握して滿蒙の工業界を壓倒すべきなり

病院、學校の獨立經營と滿蒙文化の充實

本事業は必ず絶體に獨立することを要し滿鐵と連絡あらしむべからず蓋し東三省民は本事業を帝國主義の機關なりと稱して我方に就くを欲せず故に之れを獨立せしむれば東三省民が我が國の恩惠を知り自然我が國に報恩するの念を生ずべし(中略)唯學校の施設は之を擴張して男女師範學校を設立し以て支那の教育人才を養成し以て東三省民の永遠に亘る觀日の根本精神を育成すべく之れ文化施設の第一要義なりとす

附屬文書

田中義一が宮内大臣一木喜徳郎に對し積極政策の代奏を請へる書翰

昭和二年七月二十五日

内閣總理大臣	田中義一	(署名)
外務大臣	田中義一	(副署)
鐵道大臣		(副署)
大藏大臣		(副署)

宮内大臣 一木喜徳郎殿

對滿蒙積極政策執奏の件

歐洲戦後我が大日本帝國の政治及經濟は孰れも莫大の不安を蒙りたるが其の原因を察するに我が滿蒙に對する特權及既得の實益を振起すること能はざるに基くものにして是が爲めに頗る陛下の聖慮を煩はし其の罪逃るるに由なき處なり而も臣大命拜受の際特に支那及滿蒙に對する行動は須らく我が國の權利を確保し以て進展の機會を策すべしとの勅諭を賜ふ聖旨のある所臣等感泣の至に勝へず而して臣在野當時滿蒙に對する積極政策を主張し速に之が實現を希望せるものなるを以て茲に東方の新局面を

開拓し我が國の新大陸を形成し昭和の新政を發揚せんが爲に六月二十七日より七月七日に至る十一日間滿蒙關係の文武百官を招集して東方會議を開き滿蒙に對する積極政策の議定を爲せり

右御執奏相成度候 敬具



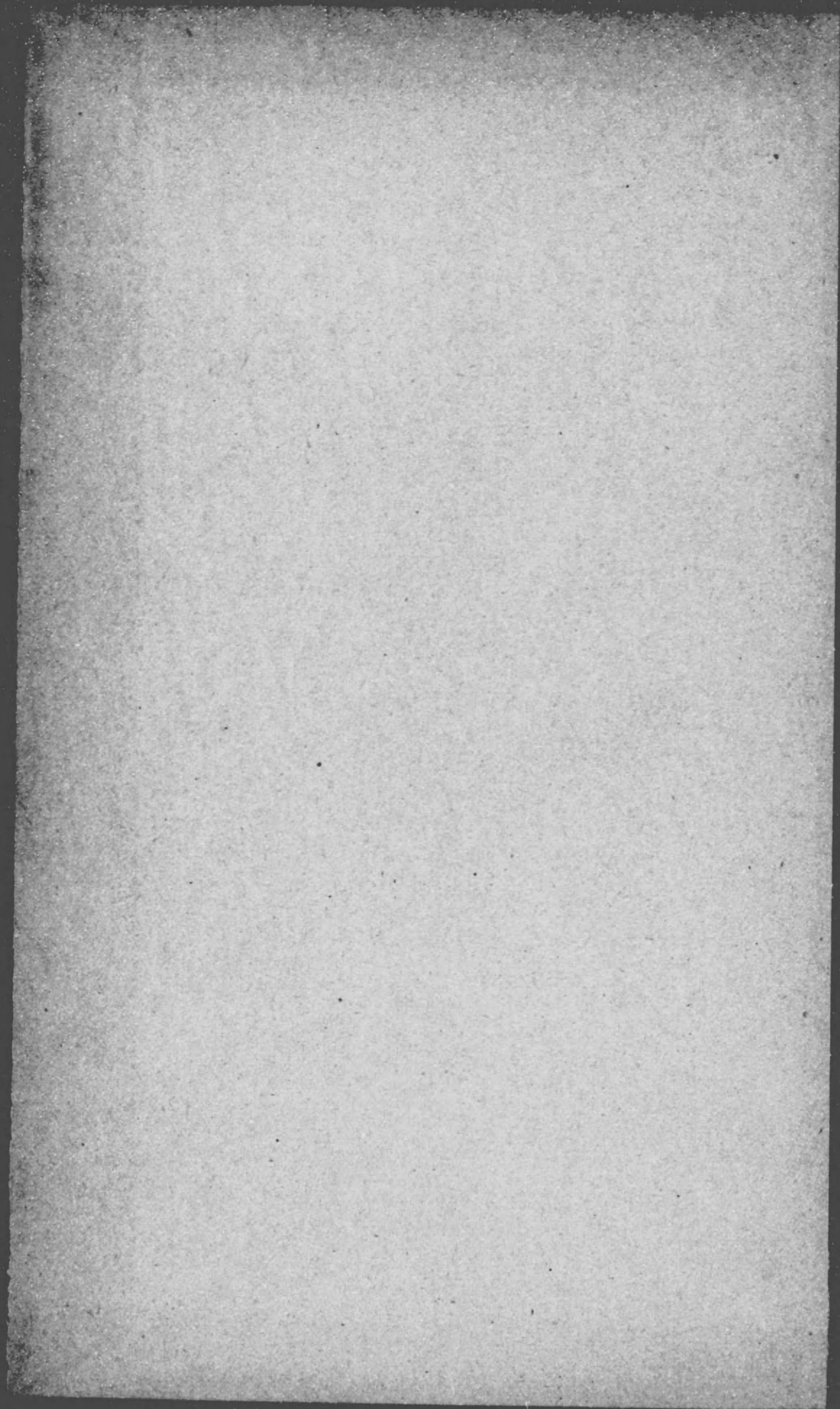
CAMBRIDGE

名書堂南

NO

¥

50



Vertical strip of paper with faint, illegible markings.